

永遠の真理

ETERNAL TRUTH



2025 年 9-10 月

「神の民のための賜物」

永遠の真理

いま永遠の真理の土台の上に堅く立ちなさい。(3T p.45)

目次

はじめに

「大いなる働きがなされるための神のみ摂理」 3

朝のマナ

「神の民のための賜物」 4

Gifts for God's People

力を得るための食事

「カボチャサラダ」 68

レシピ

お話コーナー

「しるしをつけられた人(Ⅱ)」 70

聖書物語

【正丸教会】

〒368-0071 埼玉県秩父郡横瀬町芦ヶ久保 1607-1
電話：0494-22-0465

【沖縄集会所】

〒905-2261 沖縄県名護市天仁屋 600-21
電話：0980-55-8136

発行日 2025年8月2日

編集&発行 SDA改革運動日本ミッション

〒368-0071 秩父郡横瀬町芦ヶ久保 1607-1

Illustrations: Sakusabe on Front page; Sermon View on
page 4

アクセス www.4angels.jp

メール sdarm.shomaru@gmail.com

Printed in Japan

大いなる働きがなされるための 神のみ摂理

短期間にわたしたちの世において大いなる働きがなされなければならない。そしてわたしたちは過去の年月におけるよりもっと、貴重な書物、すなわちキリストの実物教訓とミニストリー・オブ・ヒーリングを、…わたしたちの手中において下さった神のみ摂理を理解し、正しく評価するため、研究しなければならない。(教会への証 9 巻 79)

キリストのたとえの中には、キリストご自身がこの世界に対して持つておられた使命と、同じ原則を見ることができる。キリストは、わたしたちの性質をとって、わたしたちの間にお住みになった。それは、キリストが持つておられた神の性質と命とを人間が知ることができるためであった。神性が、人性の中に啓示されたのである。目に見えない栄光が、人間の姿の中にあらわされた。

人間は、未知のものを、すでに知っているものによって学ぶのである。天のものが、地上のものによって啓示された。神が、人間のかたちの中にあらわされた。キリストの教えにおいてもそのとおりであった。未知のことが、既知のことによって説明された。人びとが一番よく知っている地上のことによって、神の真理が明らかにされた。…

キリストが自然のことを教えられたとき、それは、ご自身の手が造って、ご自身が与えられた能力や機能について語っておられたのである。…地球は、罪にそこなわれてしまった。しかし、…神の実物教訓は消し去られてはいない。正しく理解しさえすれば、自然は、その創造者について語るのである。…

彼のことは、聖書の教えと同様に自然の教えをも、全く新しい姿のものとし、新しい啓示としたのである。

こうしてキリストは、ご自分が野の花や草に託された使命を解き明かされた。彼は、わたしたちが、どの草花にも、そうしたメッセージを読むことを望んでおられる。キリストのことは、確信に満ちていて、神に対する信頼を強めずにはおかない。…

イエスは、すべての人の心に通じる道をおさがしになった。彼は、さまざまな例話をお用いになることによって、真理の様々な面のことを説明するばかりでなく、異なった聴衆に訴えられたのである。人びとの日常生活の中からひかれた比喻に、人びとは興味を持った。救い主のことは聞き入っていた人の中には、一人として、自分がかえりみられていないとか、忘れ去られているとか感じるものはなかった。どんなに卑しく、罪深い人であっても、同情と親切なひびきをもって語りかける主のみ声を、彼の教えの中に聞いたのである。(キリストの実物教訓 1-5)

ミニストリー・オブ・ヒーリングとキリストの実物教訓の本は、…読む時間と気持ちがある人々の手にこれらの本がおかれるよう、できる限りのことをすべきである。(教会への証 9 巻 84)

神の民のための賜物

Gifts for God's People



9-10 月

9 月 癒しの賜物

10 月 補助者、管理者、霊を見わける力

病める世界に歓迎される賜物

「各自が御霊の現れを賜わっているのは、全体の益になるためである。すなわち、ある人には御霊によって知恵の言葉が与えられ、ほかの人には、同じ御霊によって知識の言、またほかの人には、同じ御霊によって信仰、またほかの人には、一つの御霊によっていやしの賜物、」(コリント第一 12:7-9)

わたしたちの医学生が、最も徹底した者となり、また自分たちに貸し与えられたあらゆるタラントを向上させるのは自分の義務であると感じる男女となって、ついには、彼らが委ねられた資本を倍にすることができるようにと望む。

神が医療伝道の分野に与えておられる光は、その民が科学的な医療知識において劣ったものとみなされる者とはせず、かえって最高位に立つのにふさわしくする。神は、ご自分が彼らと共におられるがゆえに、彼らを賢く理解力のある民として立たせたいと思っておられる。すべての知恵と恵みの源であるお方の強さのうちに、欠陥と無知に打ち勝つことができる。(医療伝道 65)

主は、ご自分が導いておられる働きを進めるために……最高のタラントー最高の給料を要求するタラントではなく、キリストの方針で働くためにこのお方の側に身を置くタラントーを結合させるよう求めておられる。わたしたちには、薬を使用しないで癒しの科学を教える医学教師がいなければならない。(同上 75)

わたしたちの医療機関の一つで特別な訓練を受けていない人々は、自分がほとんど何もすることができないと考えるかもしれない。しかし、親愛なる働き人の同士よ、タラントのたとえ話を思い出さない。キリストは、僕がみな同じ数だけタラントを受けるとは説明なさらなかった。ある僕は5タラント、他の者には2タラント、もう一人には1タラントが与えられた。もしあなたに1タラントしかなければ、それを賢く使い、両替人に差し出すことによって増やしなさい。ある人は他の人ほど多くのことをすることはできない。しかし、だれでもわたしたちの世界中に広まっている病気や悩みの波を押し返すために、自分にできることをすべてなすべきである。主の助け、すなわち闇の強大な力に対して主の助けを求めなさい。神は、ご自分の子らの一人びとりが知性と知識を持ち、それによって、間違えようのない鮮明さと力をもって、ご自分の栄光がわたしたちの世界に表されることを望んでおられる。(ビュー・アンド・ヘルド 1904年6月9日)

9月2日

手に手をたずさえて働く

「神は教会の中で、人々を立てて、第一に使徒、第二に預言者、第三に教師とし、次に力あるわざを行う者、次にいやしの賜物を持つ者」(コリント第一 12:28)

医療伝道の働きは、わが国のすべての教会の一部となるべきである。それが教会から分離すると、まもなくまとまりのない破片の奇妙な寄せ集めになる。それは消費しても、産出することはない。神の真理を前進させる助け手として働く代わりに、教会から命と力を吸い上げ、メッセージを弱める。独立して運営されることにより、それは他の分野で必要とされるタラントと資金を消費するばかりでなく、無力な人々を助けるという働きそのものにおいて、み言葉の伝道から離れてしまい、人々を聖書の真理をあざ笑う者にするのである。

福音伝道は、医療伝道の働きに永続性と安定性を与えるために必要である。そして伝道は、福音の実際的な働きを明示するための医療伝道の働きを必要とする。いずれも他方がなければ、完全ではないのである。

救い主がまもなく来られるというメッセージは、世界のすべての地域に伝えられなければならない。そしてすべての分野において、厳粛な威厳がそれを特徴づけなければならない。働くべき大きなぶどう畑があり、賢い農夫はすべてのところが実を結ぶように働く。もし医療伝道の働きの中で真理の生ける原則が実行し、何かそれらの輝きを曇らせるものによって汚されることなく純潔を保つなら、主はその働きを統括してくださる。もし重荷を負う人々が、忠実に真理の原則に堅く立つなら、主は彼らを是認し、支えて下さる。

医療伝道の働きと伝道の間に存在すべき一致は、イザヤ 58 章にはっきりと説明されている。ここに示されているように、その働きに携わる人々のための知恵と祝福がある。この章は明白であり、その中には、神の御旨を行いたいと思う人をだれでも啓発するのに十分である。それは苦しんでいる人類に奉仕し、それと同時に滅び行く世界の前に真理の光をもたらす神のみ手の器となるための十分な機会を提示している。(教会への証 6 巻 289, 290)

すべての栄光は神に

「わがたましいよ、主をほめよ。そのすべてのめぐみを心にとめよ。主はあなたのすべての不義をゆるし、あなたのすべての病をいやし、」(詩篇 103:2,3)

主イエスは天の父なる神のみ名を常に高められた。彼は弟子たちに「天にいますわれらの父よ、御名があがめられますように」と祈ることをお教えになった(マタイ 6:9)。そして、彼らは「栄えは、とこしえにあなたのものだからです」と認めることを忘れてはならなかった(同 6:13 新改訳)。大いなる医師イエスは人々の注意をご自分から、彼の力の源にお向けになったので、驚嘆した「群衆は、おしが物を言い、不具者が直り、足なえが歩き、盲人が見えるようになったのを見て」イエスに栄光を帰さずに「イスラエルの神をほめたたえた」(同 15:31)。(国と指導者上巻 43)

まず神の国と神の義とを求めるすべての者は何をすることができると考えなさい。これを行うすべての者のまえに大いなる働きがある。有用性の分野がこの世で善を行う者に開かれている。このように神に仕える者の言葉と働きは、命から命にいたる香りである。彼は会衆に語ることはできないかもしれないが、魂をイエスに導くことができる。

主は、罪人に福音を説く人々にいや増しに賜わる恵みと愛を持っておられる。働きが諸教会の中で、また諸教会のためになされるべきである。彼らは単に説教を聞くのではなく、キリストを救い主として受け入れるよう教育されるべきである。教会員の心は、そこに植えつけられている御言を、すなおに受け入れることができるように、十分にやわらげられ、へりくだるべきである。牧会は説教だけで成り立っているのではない。困窮しているものを助け、落胆し、信仰のほとんどない者に慰めの言葉をかけながら、病人や苦しんでいる者の苦しみを和らげるこれらの牧師からなるのである。近くでも遠くでも、魂は罪の意識によって打ちひしがれている。人間性を低め品位を下げるのは、苦難、骨折り、貧困ではなく、罪悪感、悪事を働くことである。これは不安と不満をもたらす。イエスをご自分の子らが罪の病にある魂に奉仕するのを望んでおられる。強い者は弱い者が強くなるまで彼らの弱さを負わなければならない。(ビュー・アノ・ヘラルド 1898 年 7 月 19 日)

医療伝道の働きは、教会の設立とのかかわりの中で、すべての場所に、その代表者を持つべきである。(医療伝道 322)

9月4日

教会の任務のかなめの部分

「主はエルサレムを築き、イスラエルの追いやられた者を集められる。主は心の打ち砕かれた者をいやし、その傷を包まれる。」(詩篇 147:2,3)

[医療伝道の] 働きがなされなければならない。真理が大路にも小道にももたらされなければならない。そして牧師と教会員は目覚め、この働きに協力する必要を認めなければならない。(教会への証 6 巻 299)

病人は人間と神の努力が交じり合って癒されるべきである。キリストが弟子たちに約束なさったあらゆる賜物、あらゆる力を、このお方はご自分に忠実に仕える者にお与えになる。そして創造と贖いによってご自分の者である男女に知力を与え、タラントを委ねるお方は、これらのタラントや能力が用いられることによって増し加わることをお望みになる。どのタラントも他の人々を祝福し、こうして神に誉れをもたらすように用いなければならない。しかし、医者とは自分たちの能力が個人的な財産であると思うようになった。彼らは、神のみ働きのために自分に与えられた力を、神が命じておられない働きの方向への活動範囲をひろげてきた。

サタンは忍び込む機会を見つけるために毎瞬間働いている。彼は医者には、彼のタラントはセブンスデー・アドベンチストの中に縛られているにはあまりにもっていない、もし彼が自由であるなら非常に大きな働きができると言う。彼は、神が地上の他のすべての民にまさって位置づけるために働いておられる民から独立して実行する手段が自分にあると感じるよう誘惑される。しかし、医者は、もしこの働きから自分が分離したら、自分の感化力が増すとその医者に感じてはならない。彼が自分の計画を実行しようと企てるなら、成功することはない。

聖職者の働きあるいは医療の働きにどの程度であっても利己心が入り込むなら、神の律法への違反行為である。人々が自分の能力に栄光を帰し、人々の称賛を有限な者に注がせるとき、彼らは神の名誉を汚しており、神は彼らが誇りにしているものを取り除かれる。(同上 243, 244)

体の苦しみを取り除くと、罪に病んでいる魂の癒しのために道を開く。(医療伝道 322)

身体の法則を学ぶ

「わが子よ、わたしの言葉に心をとめ、わたしの語ることに耳を傾けよ。それを、あなたの目から離さず、あなたの心のうちに守れ。それは、これを得る者の命であり、またその全身を健やかにするからである。」(箴言 4:20-22)

主は、自然の法則であれ、霊的な法則であれ、ご自分の律法に関して無知であることをお喜びにならない。わたしたちは、魂と同様に体の健康を回復するために神との協労者になるべきである。

そしてわたしたちは健康を保ち、回復する方法を他の人々に教えなければならない。病人のために、神が自然界に備えておられる治療法を用いるべきであり、回復させることのできる唯一のお方を彼らに指し示さなければならない。信仰の腕にいだいて病人、苦しんでいる者をキリストに差し出すのが、わたしたちの働きである。わたしたちは彼らに偉大な癒し主を信じるよう教えなければならない。わたしたちはこのお方の約束をつかみ、その力の表れを祈らなければならない。福音の要点そのものは回復であり、救い主は、わたしたちが病人、望みをなくした者、苦しんでいる者にこのお方の力強さをつかむようと、命じるよう望んでおられる。

キリストのすべての癒しの中には愛の力があつた。そして、信仰によってこの愛にあずかることによってのみ、わたしたちはこのお方のみ働きの道具となることができる。もしわたしたちがキリストとの神聖な結合に自分をつなげることを怠るなら、命を与えるエネルギーの流れはわたしたちからその人々へ豊かな流れとなってあふれ出ることはできない。(健康への勧告 31)

健全たるすこやかさは、学生の成功の基礎そのものである。これなくしては、彼は自分の大望と希望の達成を決して見ることはできない。それによって健康が確保され保たれる法則の知識はきわめて重要な知識である。人間の体は上手に調節された機械と比べることができる。それは、機械は順調に働き続けるために心配りが必要である。他の部分が何もしないで休んでいる間に、ある部分が絶え間なく使われ、圧迫されてはならない。思いに重い負担がかかる間、筋肉もまたそれに見合うだけ動かさなければならない。若者はみな自分の食事の習慣—何を食べ、いつ食べ、どのように食べるか—をどのように定めるかを学ばなければならない。彼はまた研究に何時間費やし、体を動かすことにどれだけの時間を当てるかも学ばなければならない。(サインズ・オブ・ザ・タイムズ 1886 年 8 月 26 日)

9月6日

癒しの香油のような言葉

「こちよい言葉は蜂蜜のように、魂に甘く、からだ(骨)を健やかにする。」(箴言 16:24)

イエスは魂をいやされるばかりでなく肉体もおいやしになった。彼は気がつくかぎりどんな種類の苦しみにも関心を持って、苦しんでいるひとりびとりを救っておやりになった。彼のやさしいことばには苦しみをやわらげる香油があったのである。だれもイエスが奇跡を行われたと言うことはできなかった。ただ恵み、すなわち愛のいやしの力が病人や困っている人たちに向かってイエスからそそがれたのだった。このように彼は子供の時からつつしみ深い態度で人々のためにお働きになった。キリストの公生涯が始まってから、多くの人々がよろこんで彼のことをばをきいた理由はここにあった。(各時代の希望上巻 92)

最上の治療が冷淡で無頓着な態度でなされるよりは、同情と気転とが病人にもっと偉大な効果をもたらすことが多い。医者が無気力で不注意な態度で病床を訪れ、病人を気づかう様子もなく診察し、大した注意を必要としない病人であるかのような印象を言葉や行いの上から与えて、患者が心の中で考えるままにまかせてそこをたち去るならば、その医者は全く害を患者に与えたことになる。その冷淡さによって生じさせた疑念や失望はその医者が処方する治療薬の効果を全く無にってしまうことがしばしばある。

身の苦痛から謙そんとなり、意志が弱くなって、同情と確信の言葉を渴望している者の立場に自分をおくことができたなら、医者は彼らの気持をたやすく理解できるであろう。キリストが病人に示された愛と同情が医者への知識と結びつくときにその医者がいることは祝福となる。(ミストリー・オブ・ヒーリング 221, 222)

わたしたちの医療施設の働き人は、体と魂の病気によって失望している人々の前に、たえず大医師キリストを置き続けなさい。彼らに体の病気と霊的な病気の両方を癒すことのできるお方を指し示しなさい。彼らの弱々しい気持ちに触れてくださるお方のことを彼らに伝えなさい。彼らが永遠の命を持つことができるようにと、ご自分の命を与えてくださったお方の世話に自分を任せるようにと励ましなさい。彼らの思いをことごとく麗しく、万人に抜きこんでいるお方に固定し続けさせなさい。このお方の愛を話しなさい。このお方の救う力を話しなさい。(健康への勧告 528,529)

謙遜は癒し

「自分を見て賢いと思ってはならない、主を恐れて、悪を離れよ。そうすれば、あなたの身を健やかにし、あなたの骨に元気を与える。」(箴言 3:7,8)

教会は目覚める必要がある。キリストが、魂を改心させ、警告、嘆願、懇願により、また

御父のみ旨への服従の完全な模範によって、人のうちに神の道徳的なかたちを回復しようとしてこの地上におられたとき、このお方は訪問なさった場所の幾つかで、彼らの不信仰のゆえに、多くの力強い働きをすることがおできにならなかった。これが、人間の思いへの神の御霊の深い働きかけを今わたしたちがもっと見ず、病人の癒しにおいてこのお方の力を今もっと見ない理由である。不信仰がわたしたちと神との間の妨げである。

み言葉の用にあたる人々が、自分たちの特権に気づかず、信仰と愛を増し加えるのに失敗するがゆえに、神を失望させ、その栄光を奪うとは、なんと悲しいことであろうか。あなたの病人を信仰のうちに神のところへつれてきなさい。神のみにあなたの罪を告白しつつへりくだりなさい。それから熱心に、すぐに信頼して祈りなさい。あなたは神の力の実際的な働きを見て、次のように言うようになる。「それなのに神は、知者をはずかしめるために、この世の愚かな者を選び、強い者をはずかしめるために、この世の弱い者を選び、有力な者を無力な者にするために、この世で身分の低い者や軽んじられている者、すなわち、無きに等しい者を、あえて選ばれたのである」(コリント第一 1:27, 28)。

神の光と愛と恵みが、わたしたちの教会のなかにもっと多く見られなければならない。そのとき、わたしたちはキリストのかたちの印を受けている魂を見るようになる。心の中に燃えているキリストの愛を保っている人々は他の人々を良い働きに狩り立てる。百倍もの人々が賛美と感謝で、快く喜ばしい服従で神に應えるであろう。神の子らの心は、世界の命のためにご自分の命をお与えになったお方への賛美と感謝に満ちあふれるであろう。(レヴェー・アソド・ハルム 1898 年 7 月 19 日)

医療伝道の働きは現代の真理の福音のために戸を開くべきである。第三天使のメッセージがすべての場所で聞かれるべきである。節約しなさい!自尊心を脱ぎ捨てなさい。……〔神は〕あなたが他の人々に与えることができるものを、あなたに与えてくださる。(同上 1901 年 12 月 10 日)

9月8日

従順が鍵

「あなたが、もしあなたの神、主の声に良く聞き従い、その目に正しいと見られることを行い、その耳を傾け、すべての定めを守るならば、わたしは、かつてエジプトびとに下した病を一つもあなたに下さないであろう。わたしは主であって、あなたをいやすものである。」(出エジプト 15:26)

人体を支配している法則には、厳格に注意を払わなければならない。なぜなら、それは聖書の言葉と同じく、まさに神の律法だからである。であるから、この律法への服従から意識的に逸脱することは、道徳律を犯すのと同様、確固たる罪である。自然は、すべて神の律法を表現しているが、わたしたちの身体構造に、エホバはご自分の指をもって、すべての振動する神経に、またすべての生きた繊維に、そして体のすべての器官の上にご自分の律法を記された。もしわたしたちが、神ご自身が記しておられる自然の道からはずれて自分自身の考案する道に入るなら、わたしたちは損害と失敗に苦しむ。(ビュー・アンド・ヘルド 1881年 12月 18日)

ああ、神が健康と霊的な才能において自分たちのために蓄えてくださっているもっとも豊かな祝福を、どれほど多くの者が失うことであろうか。自分が何か偉大なことができるようにと、特別な勝利と特別な祝福を求めて全力を尽くす多くの魂がいる。この目的のために、彼らは祈りと涙で苦悩の闘いをしなければならぬと、つねに感じている。この人々が神の表されたみ旨を知るために、祈りをもって聖書を調べ、それから差し控えることなく、わがままにでもなく、心からこのお方のみ旨を行うときに、彼らは休息を見出す。あらゆる苦悩も、あらゆる涙も奮闘も、彼らが切望している祝福をもたらさない。自己は完全に明け渡さなければならない。彼らは、信仰によって求めるすべての者に約束されている神のありあまるほどの恵みを自分のものとしながら、生じてくる働きをなさねばならない。

「だれでもわたしについてきたいと思うなら、自分を捨て、日々自分の十字架を負うて、わたしに従ってきなさい」(ルカ 9:23)。救い主の単純さと克己のうちに、このお方に従おう。言葉により聖なる生活によってカルバリーのお方を掲げよう。救い主は自分を神に捧げる者のそば近くに來られる。わたしたちが自分たちの心と生活に神の御霊の働きを必要とする時があるとすればそれは今である。聖潔と自己献身の生涯をおくる為の力を求めて、この神の力をつかもう。(教会への証 9巻 165,166)

悩んでいる者への憐れみ

「ある者はその罪に汚れた行いによって病み、その不義のゆえに悩んだ。彼らはすべての食物をきらって、死の門に近づいた。彼らはその悩みのうちに主に呼ばわれたので、主は彼らをその悩みから救い、そのみ言葉をつかわして、彼らをいやし、彼らを滅びから助け出された。」(詩篇 107:17～20)

〔詩篇 103 : 13, 14; 107:17～20 引用〕。聖霊が詩篇記者を通じてこれらの言葉を語ったときと少しも変わらず今日も神は病める者に喜んで回復を与えようとしておられる。そしてキリストも地上で伝道されていたときと同じように今もなおあわれみ深い医者である。キリストの中にすべての病をいやす乳香があり、あらゆる病弱から回復する力がある。今日、キリストの弟子たちは昔の弟子たちが祈ったように病人のために祈るべきで、そこに回復がもたらされるのは「信仰による祈りは、病んでいる人を救」うからである(ヤコブ 5 : 15)。聖霊の力と、ゆるがぬ信仰の確信を通して神の約束を自分のものとすることができるのである。「病人に手をおけば、いやされる」(マルコ一六ノ一八)。この主の約束は今日もなお使徒の時代と同様信頼できるものであつて、神の子の特権を示しており、わたしたちの信仰はその中に含まれているいっさいのものを完全に把握していなければならない。キリストのしもべは神の働きの仲介者であり、キリストは彼らを通していやしの力を働かせようと望んでおられる。病人や、苦しむ者を信仰の腕の中にいだし、神のもとに連れて行くことがわたしたちの仕事である。わたしたちは大治療者を信じるように病人に教えなければならない。

わたしたちが病んでいる人、希望を失った人、悩んでいる人などを神の力にすがるようにと励ますことを救い主はお望みになっている。信仰と祈りによって病室もベテル(神の家)と変わるであろう。医者や看護婦は誤解の余地がないほど明りように、その言動において、神は滅ぼすためではなく、救うために「この所におられる」と言うことができる。キリストはご自分の優しい愛で医者や看護婦の心を満たし、みずからの臨在を病室にあらわそうと考えておられる。もし病人を看護する者の生活がきよく、キリストが共に病床に行くことができるほどのものであるならば、あわれみ深い救い主がいてくださるという確信を病人に与え、その確信が心身のいやしに大いに役だつのである。(ミニストリー・オブ・ヒーリング 203, 204)

9月10日

最上の医者

「夕暮になると、人々は悪霊につかれた者を大ぜい、[イエスの] みもとに連れてきたので、イエスはみ言葉をもって霊どもを追い出し、病人をことごとくおいやしになった。これは、預言者イザヤによって『彼は、わたしたちのわずらいを身に受け、わたしたちの病を負うた』と言われた言葉が成就するためである。」(マタイ 8:16, 17)

わたしたちの主イエス・キリストは人類の必要に応じられるために倦むことのないしもべとしてこの世においてになった。彼は人類のすべての必要に奉仕なさるために、「わたしたちのわずらいを身に受け、わたしたちの病を負」われた(マタイ 8:17)。すなわち、病気の重荷とあわれな状態と罪を除くために、キリストはこられたのである。人類を完全に回復することが彼の使命であった。彼は、健康と平安と完全な品性を与えるためにおいでになったのである。

彼に助けを求めてきた人々の境遇や要求は種々さまざまだったが、助けを受けないで帰った者はひとりもなかった。人々は、キリストから流れ出るいやしの力のおかげで、からだも頭も心も健康にもらった。

救い主の働きは時間や場所に制限されなかった。彼のあわれみは無限であった。そのいやしと教えのわざはあまりに大きかったので、集まって来る群衆を収容できるほどの大きな建物はパレスチナになかった。(ミストリー・オブ・ヒーリング 3)

救い主は、人間を支持し、いやすために絶えず働いている力を、その奇跡によってあらわされた。自然界の手段を通して神は毎日、時々刻々にわたしたちの生命を継続させ、増進し、回復するために働いておられる。からだのどの部分でも、傷をうけると、治癒の働きがすぐに始まり、自然の力が健康を回復するために働き始める。しかし、これらのものを通して働いている力は神の力なのである。人が病気からなおるときは神がおいやしになるのである。

病気や苦痛や死は神に反する力のわざである。サタンは破壊者であり、神は回復者である。

「わたしは主であって、あなたをいやす者である」とイスラエル人に告げられたみ言葉はからだの健康、心の健康を取り戻す人々にとって、今日も事実である(出エジプト記 15:26)。(ミストリー・オブ・ヒーリング 81, 82)

お教えになる癒し主

「わたしはエフライムに歩むことを教え、彼らをわたしの腕にいだいた。しかし彼らはわたしにいやされた事を知らなかった。わたしはあわれみ（人）の綱、すなわち愛のひもで彼らを導いた。」（ホセヤ 11:3, 4）

救い主のいやしの方法には弟子たちにとって教訓があった。ある時、主は盲人の目にどろを塗って、「シロアム……の池に行って洗いなさい」とお命じになった。「そこで彼は行って洗った。そして見えるようになって、帰って行った」（ヨハネ 9:7）。病気は、大医師イエスの力だけでなおすことができるのであるが、それでもキリストは単純な自然の力をお用いになった。キリストは薬物療法に賛成ならなかったが、単純な自然療法を是認された。

苦しみをいやしてもらった多くの人々に、キリストは、「もう罪を犯してはいけない。何かもっと悪いことが、あなたの身に起るかも知れないから」と言われた（ヨハネ 5:14）。こうしてイエスは病気が神の定められた自然と霊的な法則を犯した結果であることを教えられた。人が創造主の計画に調和した生活を送りさえすれば、この世の大きな不幸は存在しないであろう。（各時代の希望下巻 371, 372）多くの者が、あたかも健康と病気は、自分たちのふるまいとは全く関係がなく、まるっきり自分たちの支配の及ばないものであるかのように行動する。彼らは原因から結果へと論理的に考えず、必要かのように弱々しさと病に屈する。彼らは病気の激しい攻撃をみ摂理の特別な定め、あるいは何かの支配、支配権力の結果であると信じ、その悪への解決策として薬に頼る。しかし病気を治療するために飲んだ薬が体の組織を弱める。（医療伝道 296,297）

聖書に、行為は人格のあらわれであると教えられているが、これほどはっきりした真理はない。人生の経験の大部分は、われわれ自身の思想や行為が実を結んだものである。

「いわれのないのろいは……止まらない（訪れない）。」（箴言 26:2）（教育 164）

わたしたちは知的に、権威をもって人々に語ることを学ばなければならない。そのとき彼らはキリストのうちに、魂と体を癒す働きをするためにわたしたちの世界にこられたお方を認めて、このお方を呼び求める。病気に苦しんでいる人々は健康改革の光をつかむために目覚める。彼らは悪い習慣を止め、自分が他の人々に影響を及ぼすことのできる立場に立つ。（ビュー・アンド・ヘアルド 1909年1月21日）

9月12日

見せびらかしや見世物でなく

「多くの人々が〔イエスに〕ついてきたので、彼らを皆いやし、そして自分のことを人々にあらわさないようにと、彼らを成められた。これは預言者イザヤの言った言葉が、成就するためである、『見よ、わたしが選んだ僕、わたしの心にかなう、愛する者。わたしは彼にわたしの霊を授け、そして彼は正義を異邦人に宣べ伝えるであろう。彼は争わず、叫ばず、またその声を大路で聞く者はない。』」（マタイ 12:15～19）

主が癒しの働きをなさった機会に何度か、このお方はご自分が祝福なさった者に、だれにもご自分の行為を話さないようにとお命じになった。彼らはそのご命令に聞き従い、キリストは軽々しく彼らの側における沈黙を要求なさったのではなく、そのご命令には理由があること、そして、このお方の口にされた願いを軽視するようなことがあってはならないことを悟るべきであった。彼らにとっては、このお方が彼ら自身の意見を胸にしまっておくように望んでおられること、またこのお方の緊急な要求にはしかるべき理由があることを知るだけで十分であるべきであった。主は、病人を癒し、盲人の視力を回復し、らい病人を清めるために奇跡を働かせることは、ご自分の命を危険にさらすことであるのをご存じであった。なぜなら、このお方がお与えになったご自分の神聖な使命についての証拠を、もし祭司や役人たちが受け入れなければ、彼らは曲解し、まげて伝え、ご自分を告発するはずだからである。主が公に多くの奇跡を行われたのは事実であるが、ある場合は、ご自分が祝福された者たちに、自分たちのために何をしてくださったか、だれにも告げてはならないと要求された。偏見がおき、ねたみと嫉妬を心に抱き、ご自分の方法が妨げられると、このお方はその町を離れ、ご自分が与えるために来られたその真理に耳を傾け、感謝する人々を探しに出て行かれた。（牧師への証 35）

「あなたは自分のために大いなる事を求めるのか、これを求めてはならない」（エレミヤ書 45:5）。十字架を負うよりは冠を手に入れたいと望む人は、神の働きの中にお用いになる余地はない。報酬を受けるよりもその義務を果たすのに熱心な人、昇級するよりも正義のために熱心な人を神は求めておられる。

謙そんで神に対するように働く人は、から騒ぎをしたり、もったいぶった人のようにあまり外観をつくらわないが、その働きはそれ以上に価値のあるものである。（ミストリー・オブ・ヒーリング 461）

一番最初のクリスチャン伝道

「〔イエスは〕十二弟子を呼び寄せ、ふたりずつかわすことにして、彼らにけがれた霊を制する権威を与え、また旅のために、つえ一本のほかには何も持たないように、パンも、袋も、帯の中に銭も持たないように、……命じられた。……そこで彼らは……多くの悪霊を追出し、大ぜいの病人に油をぬっていやした。」（マルコ 6:7,8,13）

福音伝道は病人や健康な者への真理の宣布のための組織である。それは医療伝道の働きとみ言葉の伝道を結合させる。これらの結合された働きによって、社会のあらゆる階級、あらゆる身分の人々に光を伝え、福音を示す機会が与えられる。神は牧師や教会員が医療伝道の働きに断固とした、活動的な関心を持つことを望んでおられる。

人々の立場や状況がどうであろうと、彼らをそのいるところで受け入れ、できるかぎりの方法で彼らを助けなさい。これが福音伝道である。体が病気の人々はほとんどいつも思いが病気であり、その魂が病気であるとき、体もまた影響を受ける。牧師たちは病人と悩んでいる人に伝道し、機会がおとずれるときにはいつでも助けることが、自分の仕事の一部であると感じなければならない。福音の牧師は、人々が聖化され、主の来臨のために準備できるようになるためには受け入れなくてはならないメッセージを、提示すべきである。この働きは、キリストの伝道に包含されているいっさいのものを包含すべきである。

そうであるなら、わたしたちの牧師はみな医療伝道の働きを推進している人々と心から協力しようではないか。注意深くキリストの生涯を研究し、このお方がどのように働かれたかを知り、それからこのお方の模範に従おうではないか。（教会への証 6 卷 300, 301）

各教会員は主のために何かの方面に従うべきである。ある者は他人ほどできないにしても、世界に広がっている病気や苦難の流れを押し返すために、自己の最善を尽さなければならない。どうして始めるかを教えられさえすれば多くの人は喜んで働く。彼らには教えと励ましが必要である。（ミストリー・オブ・ヒーリング 121）

9月14日

今日世界が必要としていること

「主を信じて仲間に加わる者が、男女とも、ますます多くなってきた。ついには、病人を大通りに運び出し、寝台や寝床の上に置いて、ペテロが通るとき、彼の影なりと、そのうちのだれかにかかるようにしたほどであった。またエルサレム附近の町々からも、大ぜいの人が、病人や汚れた霊に苦しめられている人たちを引き連れて、集まってきたが、その全部の者が、ひとり残らずいやされた。」(使徒行伝 5:14-16)

世界が1900年前に必要としたもの、すなわち、キリストの黙示は今日も必要であり、大改革運動が要求されているが、肉体と知能と精神の回復の働きはキリストの恵みによって初めて完成されるものである。人の心を動かすにはキリストの方法だけが真の成功をもたらす。人間と交際しておられた間、救い主はその人たちの利益を計られ、同情を示し、その必要を満たして信頼をお受けになった。そして「わたしについてきなさい」とご命令になった。

個人的に努力をして、人々に近づいていくことが必要である。説教に用いる時間を減らし、個人伝道にもっと多くの時間を使うならば、さらに大きな結果をもたらすだろう。貧しい者を助け、病める者を看護し、悲しむ者、親しい人を失った者を慰め、無知な者に教え、経験がない者には助言を与えなければならない。わたしたちは泣く者と共に泣き、喜ぶ者と共に喜ぶべきである。納得させる力と祈りの力と神の愛の力が伴うならば、この働きが実を結ばずにおくはずはなく、必ず結ぶのである。

医事伝道事業の目的は、罪に悩む男女に世の罪を除くカルバリーの人を示すことであることを、わたしたちはつねに記憶していなければならない。キリストを見上げることによって彼らは変化し、キリストの姿に似てくる。わたしたちは病める者や苦しむ者を励まし、イエスを見て、生きるように励まさなければならない。……。神は肉体の苦痛を除くためのわたしたちの努力を通して、人の心をお動かしになることがよくある。(ミストリー・オブ・ヒーリング 114-116)

驚いたルカオニヤ人たち

「ルステラに足のきかない人が、すわっていた。彼は生れながらの足なえで、歩いた経験が全くなかった。この人がパウロの語るのを聞いていたが、パウロは彼をじっと見て、いやされるほどの信仰が彼にあるのを認め、大声で『自分の足で、まっすぐに立ちなさい』と言った。すると彼は踊り上がって歩き出した。群衆はパウロのしたことを見て、声を張りあげ、ルカオニヤの地方語で、『神々が人間の姿をとって、わたしたちのところにお下りになったのだ』と叫んだ。」(使徒行伝 14:8 ～ 11)

パウロは苦しんでいる人々を癒すのに、キリストの働きを詳しく話したとき、彼は自分に視線を注ぎ、彼の言葉を受け入れ、信じた足なえに気づいた。パウロの心はその苦しんでいる人への同情にあふれた。彼はその人の信仰をはっきりと見た。そして救い主はすでに天へ昇天しておられるけれども、地上におられた時よりもさらに力を持っておられる、人間の友であり医者である方によって癒していただけるという希望を、その人は熱心につかんだ。

偶像教徒の集会の面前で、パウロはその足なえに足で立つようにと命じた。今まで彼は座っていることしかできなかったが、今彼はパウロの言葉を信仰でつかみ、すぐに彼の命令に従い、彼の生涯で初めて自分の足で立った。力強さがこの信仰の努力に伴ってもたらされ、足なえであった人は、虚弱を経験したことがないかのように飛び歩いた。

足なえに行われたこの働きは、見ている者すべてにとって驚くべきことであった。その患者は非常に良く知られており、その癒しは完全であったので、彼らの側に懐疑論の入る余地はなかった。ルカオニヤ人は超自然の力が使徒の働きに伴ったことを確信し、神々が人の様で天から彼らのところの下ってきたと、熱狂して叫んだ。この信仰は、神々は地上を訪れるという彼らの伝説と調和していた。
.....

足なえの奇跡的な癒しの知らせは、まもなくその地方にくまなく伝えられ、全般的な興奮が生じ、神々の宮からの祭司たちが使徒たちに栄誉を授ける準備をするまでに至った。(パウロの生涯からのスケッチ 56, 57)

9月16日

自己の手柄にしない

「ふたりの使徒バルナバとパウロとは、これ〔彼らに犠牲を捧げるというルカオニヤ人の計画〕を聞いて自分の上着を引き裂き、群衆の中に飛び込んで行き、叫んで言った、『皆さん、なぜこんな事をするのか。わたしたちとて、あなたがたと同じような人間である。そして、あなたがたがこのような愚にもつかぬものを捨てて、天と地と海と、その中のすべてのものをお造りになった生ける神に立ち帰るようにと、福音を説いているものである。……』こう言って、ふたりは、やっとのことで、群衆が自分たちに犠牲をささげるのを、思い止まらせた。」(使徒行伝 14:14, 15, 18)

使徒たちは異教徒たちによって彼らに帰した神性をはっきりと否定し、パウロは礼拝する価値のある唯一の対象として、真の神に彼らの思いを向けようと努めたが、それでも彼らにその目的からそらせるのは非常に難しかった。

彼らは自分の目で、使徒たちが行った奇跡の力を見たのであり、以前には一度も自分の脚を使ったことのなかった足なえが、この見知らぬ人々の持っていた驚くべき力の行使により、完全な健康と力強さで飛び跳ね、喜んでいるのを見たと言った。しかしパウロの側の多大の説得の後、また使徒の真の任務の説明の後、人々は自分たちの目的をいやいやあきらめるよう導かれた。しかしながら、彼らは満足せず、大変な失望のうちに犠牲の動物を連れ去った。パウロたちに特別な祝福を授けるためにおとずれたという彼らの好意の実例は、彼らと彼らの宗教を世間の評判において高めたはずであるが、それによって聖なる存在が地上を訪れるという彼らの伝説を強化することができなかったからである。(パウロの生涯からのスケッチ 58,59)

すべての医者にとって、自分自身を厳密にまた注意深く吟味することが必要である。彼の宗教経験はどうであろうか。彼は自己が支配するのを許しているであろうか。自分の願いと願望を最高のものとしているであろうか。彼は絶えず自分の前に神の栄光を置いているであろうか。(医療伝道 47)

あなたは患者を、魂と同じく体の医者としてイエスを見つめるように導かなければならない。もし医者が、自分の心のうちにキリストの愛をもっているなら、苦しんでいる人の前に力強い癒し主を置くために感化力を用いる。彼はすべての力、あわれみ、善の源であるお方へと、思考力、感謝、賛美を向けさせることができる。(同上 150)

告発は驚くことではない

「あるユダヤ人たちはアンテオケやイコニオムから押しかけてきて、群衆を仲間に取り入れたうえ、パウロを石で打ち、死んでしまったと思って、彼を町の外に引きずり出した。」(使徒行伝 14:19)

さて奇妙な変化が〔リステラの〕気まぐれな興奮しやすい人々に及んだ。なぜなら、信仰が真の神に錨を下ろしていなかったからである。アンテオケの敵対するユダヤ人、すなわちその影響力をもって使徒たちをかの地方から追い出した人々が、イコニオムにいるあるユダヤ人たちと一緒にあって、使徒たちを追跡し、後を追った。足なえに行われた奇跡と、それを目撃した人々に及んだ影響力が彼らの妬みを引き起こし、彼らは使徒の働き場所へおもむいて、その働きに彼らの偽りの説明をほどこした。神はその奇跡のどの部分にも関わっておられないと彼らは言い、それはこの人々が仕えている悪魔によって成就したのだと主張した。

かつて同じ部類の人々が、救い主は悪魔を悪魔の君の力によって追い出したのだと告発したのであった。彼らはこのお方を欺く者として公然と非難し、今このお方の使徒たちに同じ理由のない怒りをぶつけた。欺瞞という方法によって、彼らはリステラの人々に彼ら自身が動かされた苦い精神を吹き込んだ。彼らはパウロとバルナバの経歴と信仰を完全に知っていると主張し、彼らの品性と働きを非常に偽り伝えたので、使徒たちを神々として礼拝するばかりになっていたこれらの異教徒は、いまや彼らを殺人者よりも悪い者だと考え、彼らを世から消し去る者はだれでも神と人に良い奉仕をなすことになると考えるようになった。

この終わりの時代に神のみ言葉の真理を信じ教える人々は、真理を受け入れない人々、すなわち、うそをつくことをためらわず、世に対する警告のメッセージをもって神が遣わされた人々の感化力を打ち破り、彼らの道をふさぐためには、もっとも明白な欺瞞を流布することさえする無節操な人々から同じような反対に会う。ある部類の者が欺瞞を作りだして広めるかと思えば、もう一方の部類はサタンの惑わしによってあまりにも盲目になっているため、それらを真理の言葉として受け入れる。彼らは神の子であるとうぬぼれるが、大敵のわなの中にいる。(パウロの生涯からのスケッチ 59, 60)

9月18日

全員のための祝福された働き

「愛する者よ。あなたのたましいがいつも恵まれていると同じく、あなたがすべてのことに恵まれ、またすこやかであるようにと、わたしは祈っている。」(ヨハネ第三 2)

単純な治療法を用いて偉大な癒し主イエスにつながっている病人に福音を提示しよう。そうすればわたしたちの生ける信仰は応えられる。しかし偉大な癒し主のところへ来る人々は、このお方のみ旨を喜んで行い、自分の魂をへりくだらせ、自分の罪を告白しなければならない。わたしたちが否まれることのない信仰をもって神の力をつかむとき、神の救いを見る。

キリストは人の命を回復するために来たと宣言なさった。この働きはキリストに従う者によってなされるべきであり、もっとも単純な方法でなされるべきである。家族は病人を世話する方法を教えてもらうべきであり、福音の希望が男女の心に再びよみがえるべきである。わたしたちは彼らを偉大な癒し主に引き寄せようと努めなければならない。医者癒しの働きの中で薬を使うのではなく、理性的な方法に従うことによって知的に働こう。それから信仰の祈りによって病気の進行を止めるために神の力を引き出しなさい。これは苦しんでいる者に、キリストを信じる信仰と祈りの力を起こさせ、病気を治療するわたしたちの単純な方法への確信を彼らに与える。そのような働きは思いを真理に向ける方法であり、福音伝道の働きに大きな効果がある。(医療伝道 29)

すべての教会がクリスチャンの働き人を養成する学校でなければならない。その会員には聖書研究の授け方や安息日学校の組の運営と教授法、貧しい人を助け、病人を看護する最善の方法、悔い改めていない人のために働く方法を教えなければならない。(ミニストリー・オブ・ヒーリング 121)

わたしたちの教会があるすべての町に治療をすることのできる場所が必要である。わたしたちの教会員の家庭の中に、病人を適切に世話するための部屋と設備を持つ余裕のあるところがほとんどない。普通の病気の治療ができる場所を備えるべきである。建物は洗練されておらず、かえって粗野であつたとしても、単純な治療を施す設備を備えているべきである。これらは上手に使用すると、わたしたちの民だけでなく、彼らの隣人にも祝福であることを証明し、健康の原則に多くの人の注目をひきつけることができる。(教会への証 6 巻 113)

病に直面するとき

「あなたがたの知っているとおり、信仰がためされることによって、忍耐が生み出されるからである。だから、なんら欠点のない、完全な、でき上がった人となるように、その忍耐力を十分に働かせるがよい。あなたがたのうち、知恵に不足している者があれば、その人は、とがめもせず、惜しみなくすべての人に与える神に、願い求めるがよい。そうすれば、与えられるであろう。」(ヤコブ 1:3～5)

わたしたちはみな自分の祈りにただちに直接の答えが来ることを願う。そして答えが遅れるか思いがけない形で来ると失望するよう誘惑される。しかし神は、いつもわたしたちが願うとおりの時と方法で祈りに答えて下さるには、あまりにも賢く、いつくしみ深いお方である。このお方はわたしたちの願いをすべて成し遂げることよりも、わたしたちのためにもっと多く、もっと良いことをしてくださる。……

祈りによって癒しを求める人々は、自分の手に届く範囲にある治療の手段を用いるのを怠ってはならない。痛みを軽減するために、自然が回復の働きをするのを助けるために、神がお備えになった治療を用いることは信仰の否定ではない。……わたしたちが病人の回復を祈るとき、わたしたちに神と協力する特権があることを感謝し、神ご自身が備えてくださった方法の上に賜るこのお方の祝福を求めて、ますます全精力を尽くして働くことができる。

わたしたちには治療手段を用いることに対して、神のみ言葉の是認がある。イスラエルの王ヒゼキヤは病気であった。そして神の預言者は彼が死ななければならぬとのメッセージを彼にもたらした。彼は主に向かって叫びもとめ、主はご自分の僕の願いを聞いて下さり、彼の命が15年加えられるとのメッセージを送られた。そのとき、神からの一言でヒゼキヤをただちに癒すこともおできになったのである、しかし、「干いちじくのひとかたまりを持ってこさせ、それを腫物につけなさい。そうすれば直るでしょう」との特別な処方を与えられた。(クリスチャンの節制と聖書の衛生 111, 112)

わたしが預かっている病気の子供の命に関わるいくつもの病状に関してわたしに与えられている光がわたしに示すこと、またすべての場合に与えられた指示は、次のとおりである。頭に氷をおいてはならない(冷たい水をおきなさい)。温シップを(腸、胃、肝臓に)あてなさい。これは冷たくするよりも熱をはるかに早く鎮(しず)める。冷シップをすると、熱を冷ますよりは、その反動でかえって熱を高くしてしまう。この指示がわたしに繰り返し与えられている。(セクレット・メッセージ 2 巻 53)

9月20日

忠実な使者

「悪しき使者は人を災におとし入れる、しかし忠実な使者は人を救う。」(箴言 13:17)

真の医療伝道の働きは、神聖な起源を持ち、それには果たすべきもつとも栄光に満ちた使命がある。それに関することはすべて、キリストのみ働きに一致していなければならない。

この段階における医療伝道の働きでは、かつて地上を歩んだ中でもつとも偉大な医療伝道者であられたお方の使命を理解することほど、わたしたちの助けとなるものはない。この分野の奉仕がいかに神聖なものであるか、またこれが偉大な伝道者の生涯の働きにいかにか完全に一致しているかを理解することほど、わたしたちの助けとなるものはない。わたしたちの使命の目的は、キリストの使命の目的と同じである。なぜ神は墮落した世にご自分のひとり子を送られたのであろうか。人類に、彼らに対するご自分の愛を知らしめるためである。キリストは贖い主として来られた。ご自分の公生涯を通じて、このお方は罪人を救うご自分の使命を最高のものとして維持された。……

救い主は地上において、神への愛がすべてのキリストを信じる真の信徒たちに強く迫って生きる生涯を送られた。この方の模範に従うとき、わたしたちは医療伝道の働きにおいて、世に対し、自分たちがこのお方を代表する者であること、またわたしたちの信任状は上からのものであることを表すのである。

キリストはご自分が墮落した世に来て、罪人のために死ぬことによって、贖いの偉大な計画を実行するよう、御父が選ばれたことを知っておられた。そしてこのお方がご自分の使命を果たすために来られたとき、このお方は、あらゆる意味において、医療伝道者であられた。わたしたちはこのお方と一つであるときにのみ、キリストのような方法で医療伝道の働きをなすことができる。このお方と結合して、わたしたちは霊的な命と力を受け、このお方が死なれたすべての人への愛を表し、天の倉に魂の収穫を携え入れるために熱心に働いて、「神の同労者」となることを学ぶのである(コリント第一3:9)。このお方の御霊に満たされて、男も女も、神から遣わされた伝道者としてキリストの生涯を通じ、活気づけた罪人を救いたいという同じ願望によって活気づけられるのである。

わたしは神が医療伝道の働きを地上の汚点から清め、それを世の前に真の立場にまで高めることを望んでおられるのを伝えるよう指示されている。……神に誉れを帰したいと望む人々は、世的な方針を持つ計画をこのお方の計画に混ぜないのである。(ビュー・アンド・ヘルド 1904年6月16日)

偽者の癒し人に注意せよ

「つるぎをもって刺すように、みだりに言葉を出す者がある、しかし知恵ある人の舌は人をいやす。」(箴言 12:18)

わたしたちはキリストに錨を下ろし、信仰に根ざし、基とする必要がある。サタンは代理人を通して働く。彼は生ける水から飲んでこなかった者、魂が何か新しい変わったことを渴望している者、あらわれて来るどんな泉からでも飲もうとする者を選ぶ。「見よ、ここにキリストがいる」あるいは「あそこにいる」という声が聞かれるであろう。しかし、わたしたちはそれらを信じてはならない。わたしたちには、真の羊飼いの声の間違えようのない証拠がある。……このお方はご自分の羊を、神の律法への謙遜な服従の道へと導かれるのであって、彼らにその律法の不法を奨励することは決してない。

「ほかの人の声」とは、神の聖にして、正しく、善なる律法を尊重も服従もしない人の声である。多くの人々は、この義の偉大な標準を尊重しない一方で、大いに聖潔を見せかけ、自分たちが病人を癒すのに不思議を行うことを自慢する。しかし、これらの癒しはだれの力を通してなされているのであろうか。いずれかの当事者の目は、彼らの不法に対して目が開かれるのであろうか。そして彼らは、謙遜で従順な子供としての立場を取り、神のご要求のすべてに応える準備ができるのであろうか。……

だれ一人として欺かれる必要はない。神の律法は神の御座と同じように神聖であり、それによって世にあらわれるすべての人は裁かれるのである。品性を試すほかの標準は一つもない。……もし癒しを実行する媒体となっている人々が、これらの現れのゆえに、神の律法を無視する言い訳をする傾向があり、不服従を続けるならば、彼らにどれほどの、あるいはすべての力があつたとしても、神の偉大な力を持っているのではないことがわかるのである。その反対に、それは大いなる欺瞞者の奇跡を働く力である。彼は道德律の違反者であり、その真の性質に対して人の目をくらませることができるようあらゆる考案をめぐらせる。わたしたちはこの終わりの時代に、彼がしるしと偽りの不思議をもって働くことを警告されている。そして彼は、これらの不思議を恩恵期間が閉じるまで続ける。それは、彼が闇ではなく光の天使である証拠としてそれらを指し示することができるためである。(ビュー・アンド・ヘルド 1885 年 11 月 17 日)

9月22日

自慢げな奇跡は神からのものではない

「しかし、驚くには及ばない。サタンも光の天使に擬装するのだから。だから、たといサタンの手下どもが、義の奉仕者のように擬装したとしても、不思議ではない。彼らの最期は、そのしわざに合ったものとなろう。」(コリント第二 11:14, 15)

〔サタンの〕代理人たちは、病気を癒すと主張する。彼らは電気、磁気、あるいはいわゆる「交感神経治療」を用いると主張するが、事実は彼らの自慢する磁気力は直接サタンの魔術に起因しているのである。(パウロの生涯からのスケッチ 139)

悪霊の影響下にある人々は奇跡を行う。彼らは人々に魔法をかけて病気にし、その後その魔法を取り除いて、他の人々が病人は奇跡的に癒されたと言うように導く。これを、サタンは何度もくりかえしてきた。

わたしたちは欺かれる必要はない。サタンが密接に関係している不思議な光景は、まもなく起きる。神のみ言葉はサタンが奇跡を行うと宣言している。彼は人々を病気にし、その後突然、彼の悪魔的な力を取り除く。彼らはそのとき、癒されたと思うのである。これらの一見癒しに見える働きは、セブンスデー・アドベンチストをテストすることになる。(エレクトド・メッセージ 2 巻 53)

〔サタンは〕ときどき美しい若者の美しい影をもった姿で現れる。彼は癒しを行い、欺かれた人間に、人類の恩恵者として拝されるのである。(教会への証 1 巻 296)

ある者は、主がわたしにさせるために与えてくださった働きを信じないと宣言する。なぜなら、「E・G・ホワイト夫人は奇跡を行わないから」と言うのである。しかし、神聖な導きのしるしとして奇跡を求める人々は、大変な危険のうちにいる。み言葉には、敵が、信仰から離れた自分の代理人たちを通して働くこと、そして彼らは一見奇跡を行うようになること、人々のみている前で天から火を降らせることさえすると述べられている。「偽りの不思議」という手段によって、サタンは、可能であれば選民をも惑わそうとする。

多大な人々がわたしが語るのを聞き、わたしの書きものを読んだが、だれもわたしが奇跡を働く主張するのを聞いた人はいない。ときどき、わたしは病人のために祈るように要請され、主のみ言葉が立証されてきた。〔ヤコブ 5:14, 15 引用〕。キリストこそ偉大な奇跡を働かれるお方である。このお方にすべての栄光は帰する。(エレクトド・メッセージ 2 巻 53, 54)

辛抱強い忍耐が必要とされる

「あなたがたは、しるしと奇跡とを見ない限り、決して信じないだろう。」(ヨハネ 4:48)

恵み深くも自分たちの手の届くところにおかれた光と知識を活用することを拒む人々は、霊的また肉体的命を促進するために神が彼らに与えてくださった手段の一つを拒んでいるのである。彼らは自らをサタンの惑わしにさらすことになる。

クリスチャン時代のクリスチャン国家で、少なからぬ人々が、生ける神のみ方に信頼するよりは、悪霊に訴える。病床の傍らで自分の子を見ながら母親が、「わたしはもうどうすることもできない。だれかわたしの子を回復させる力のある医者はいないであろうか?」と叫ぶ。彼女は透視力と磁力の癒し人によって行われたすばらしい癒しのことを聞き、自分のいという子を彼に任せ、まさにサタンが彼女の傍らに立っているかのようにその手に渡す。多くの事例において、その子の将来の生活は、打ち破りがたいように思える悪魔的な力に支配されるのである。

わたしは母親が、不信心の医者にわが子の命を救ってほしいと懇願するのを聞いたことがある。しかし、わたしが彼女に偉大な医者、すなわち信仰によってご自分の許に来るすべての人を最高に救うことのできるお方からの助けを求めるように嘆願すると、彼女はいらだって立ち去っていくのである。(クリスチャンの節制と聖書の衛生 111, 112)

キリストが働かれた方法は、み言葉を説くことであり、癒しの奇跡的な働きによって苦しみを取り除くことであった。しかし、わたしは今この方法では働くことができないことを教えられている。なぜなら、サタンが奇跡を行うことによって自分の力を働かせるからである。神の僕たちは今日奇跡という手段によって働くことはできないのである。なぜなら、癒しの偽物が、神からのものだと言主張して、行われるからである。この理由により、主はご自分の民が身体的な癒しの働きを、み言葉の教えと結合させて進めるように方法を示してこられた。サニタリウムが設立され、これらの施設に、本物の医療伝道の働きを進める働き人たちが関わらなければならない。こうして治療のためにサニタリウムに来る人々を防御の感化力が取り囲む。これこそ、多くの魂のために福音の医療伝道の働きがなされるべき主の備えである。(レクティッド・メッセージ 2 巻 54)

薬剤の魔法

「ギレアデに乳香があるではないか。その所に医者がいるではないか。それにどうしてわが民の娘はいやされることがないのか。」(エレミヤ 8:22)

薬物の使用は、益になるよりもずっと大きな害をもたらしてきた。したがって、真理を信じると主張するわたしたちの医者が、ほとんど完全に薬を使わずに、忠実に衛生の方針に従って、自然治療を用いながら実践するならば、彼らの努力には、はるかに大きな成功が伴う。何であれ、薬物を投与する方法を称賛する必要はない。わたしは自分が何を話しているかわかっている。医療を職業とする兄弟方よ、わたしはみなが率直に考え、子供じみたことを捨てるようにと願います。……より大きな技能と知識が彼らによりすぐれた方法を教えるときに、彼らは薬という手段に訴える。(理にかなった療法における薬草の役割 29)

熱に苦しんだ多くの人々は、薬物を投与された結果、死んだ。彼らは、水治療のできる人によって、それを受けていたならば、今日生きていたはずであった。(ロマ・リンダ・メッセージ 30)

主は、わたしに大いなる背信がおこるであろうと警告された。霊性において墮落がおこるであろう。多くの人々は、真理を聞くことから耳をそむけ、作り話を受け入れる。わたしたちのサニタリウムは賢明な神を畏れる人々、すなわち健全な真理を教え、いかにして有害な習慣や感化を避けるかを研究しながら、なぜわたしたちが真理を信じるか、またなぜわたしたちが万事につけ厳密な節制を実践すべきかを示す人々によって運営されなければならない。徳と聖潔が実践されるようになる。

み言葉がわたしたちに警告していることが地に起こりつつあるのを見ると、わたしはわが民にサニタリウムを設立する必要性を訴えなければならないと感じる。真理を知らない人々の奇跡的な癒しのために祈ることはできない。彼らは自分たちの力を売り渡してきたので、もしそのように癒されれば、栄光を神に帰す代わりに、悪習慣に従うことによって、このお方を辱め続けることになる。わたしたちは、自分たちのサニタリウムに来る人々を教育し、正しい飲食と衣服の習慣に従うことによって、神との正しい関係に自らをおくにはどうしたらよいかを、教えずにはならない。(原稿リリース 6 巻 378)

サニタリウムの設立におけるわたしたちの目標は、イエスを見て生きるよう、病人や苦しむ人々を励ますことでなければならない。(健康への勧告 528)

規定に従って競技をしているか

「われわれが主に罪を犯したので、われわれの神、主がわれわれを滅ぼそうとして、毒の水を飲ませられるのだ。われわれは平安を望んだが、良い事はこなかった。いやされる時を望んだが、かえって恐怖が来た。」(エレミヤ 8:14, 15)

しばしばさまざまなかたちで、次のような発言がなされた。「なぜそれほどサニタリウムに頼るのか。神の民がしてきたように、病人の奇跡的な癒しのために祈ればよいではないか」。わたしたちの働きの当初は、多くの人々が祈りによって癒された。ある人々は、癒された後に、過去にしたがっていたのと同じ食欲の放縦という道をたどった。彼らは病気を避けるような方法で生きることも働くこともしなかった。彼らは自分たちに対する主の慈しみ深さを感謝していることを示さなかった。自分自身の同じ不注意で思慮のない一連の行動を通して、何度もくりかえし苦しみにあった。いかにして主は彼らに健康という賜物を与えることによって、栄光をお受けになることができるであろう。(ローマ・リング・メッセージ 30)

イエスはわたしたちの完全な模範であられる。そしてこのお方が自分の前におかれている喜びのゆえに、恥をもいとわないで十字架を忍ばれたことを見るとき、わたしたちはより大きな真剣さに目覚めるべきである。……このお方はどの人が耐えうるよりも激しい戦いをくぐりぬけられた。

「競技をするにしても、規定に従って競技をしなければ、栄冠は得られない」(テモテ第二 2:5)。人は自分の存在をつかさどっている法則に調和していたならば持っていたはずの身体的、精神的、また道徳的力を持たずにいながら、勝利しようと一生懸命努力することがある。もし利己的な放縦を通して、不節制な人であれば、彼の身体のすべての器官は弱くなり、彼は精神的および道徳的力を奪われる。彼は規定に従って競技をしていないのである。……

わたしたちは、もし永遠の命の賜物を勝ち取りたいのであれば、規定に従って競技しなければならない。道は十分広い。そして競走する者はみな賞を得ることができる。もしわたしたちが不自然な食欲を創出し、いくぶんでもそれにふけるのであれば、自然の法則を犯し、身体的、精神的、また道徳的状态を弱める結果となる。わたしたちはこうして、自然の法則に忠実であればできたはずの辛抱強く、精力的な、見込みのある努力をするのに適さない者となるのである。(ビュ・アンド・ハルト 1881 年 10 月 18 日)

病人のための祈り

「あなたがたの中に、病んでいる者があるか。その人は、教会の長老たちを招き、主の御名によって、オリブ油を注いで祈ってもらうがよい。信仰による祈は、病んでいる人を救い、そして、主はその人を立ちあがらせて下さる。かつ、その人が罪を犯していたなら、それもゆるされる。」(ヤコブ 5:14, 15)

健康へ回復するために祈って欲しいと望む人々には、神の律法を犯すことは、それが自然の法則であれ霊的な法則であれ、罪であること、また彼らが神の祝福を受けるためには、罪を告白し、捨てなければならないことが、はっきり伝えられるべきである。

聖書は「だから、互に罪を告白し合い、また、いやされるようにお互いのために祈りなさい」と命じている(ヤコブ 5:16)。祈りを求める人には、次のような内容を提示しなさい。「わたしたちは心を読んだり、あなたの生涯の秘密を知ることはできません。それらはただあなた自身と神が知るのみです。もしあなたが自分の罪を悔い改めるなら、それらを告白するのがあなたの義務です」。

個人的な性質の罪は、神と人との間の唯一の仲保者であられるキリストに告白しなければならない。……すべての罪は神に対する不法行為であるから、キリストを通してこのお方に告白されるべきである。すべての公の罪は、公に告白されるべきである。同胞になされた悪は、それをされた人に対して正されるべきである。もし健康を求めている人に、悪口の罪があるなら、もし家庭や近隣や教会で不和の種をまき、疎遠や不一致をひきおこしたなら、もし何かの悪習慣によって他の人を罪に導き入れたなら、これらのことは、神とそれをされた人々の前で告白されるべきである。〔ヨハネ第一 1:9 引用〕。

悪が正されたとき、わたしたちは病人の必要を静かな信仰のうちに、このお方の御霊が示されるとおりに、主に申し上げることができる。このお方は名をもって各人を知り、あたかもこの地上にはそのためにご自分のひとり子をお与えになった人が他に一人もないかのように、各人の心配をご存知である。神の愛は非常に大きく、非常に確かなのだから、病人はこのお方に信頼し、元気を出すよう励ましを受けるべきである。自分自身のことを案じることは、弱さと病気をもたらし傾向にある。もし彼らが憂鬱と暗闇の上に超然としているなら、彼らの回復の見込みは良くなるのである。(福音宣伝者 216, 217)

神の救の健康がもろもろの国民に

「どうか、神がわれらをあわれみ、われらを祝福し、そのみ顔をわれらの上に照されるように。〔セウ〕これはあなたの道があまねく地に知られ、あなたの救の力(健康)がもろもろの国民のうちに知られるためです。」(詩篇 67:1, 2)

医療伝道の働きの効果は、罪に病んだ男女に、世の罪を取り除くカルバリーの人を指し示すことにある。(健康への勧告 528)

わたしたちがサニタリウムを持つべきだという光が来たとき、十分に理由が与えられた。健康的な生活に関して、多くの人々は教育される必要がある。病人を受け入れ、健康を維持するためにいかに生きるべきかを教えてもらえる場所を備えなければならない。同時に、病人は薬物なしに治療を成功させることができるという光が与えられた。(ローマ・リンダ・メッセージ 30)

キリストは、ご自分が公生涯の間になされたのと同じ働きをできる力をご自分の教会に与えてくださった。今日、このお方は地上におられたときと同じように同情深い医者であられる。わたしたちは、このお方にこそ、あらゆる病気のための癒しの乳香と、すべての虚弱のための回復力があることを、苦しんでいる人々が理解できるようにさせるべきである。(健康への勧告 210)

病人が健康に回復するときに、しばしば栄光が医者に着せられるが、苦しみを和らげ、命を延ばしたのは、神聖な一触であり、救い主の癒しの乳香であった。もし回復していただいた者が医者を称賛するなら、命のみ言葉を語られたお方として同情深い救い主を指し示すことによって、自らをキリストのうちに隠すことが、その医者との義務であり、特権である。それは、彼が主こそ働きをなさるお方として、また医者をただの器として認め、また救い主がそのように命と健康を新たにしてくださった人々の思いに、彼らの命は高く聖なる目的のために延ばされたのだということを実感する機会である。(パシフィック・ヘルス・ジャーナル 1901 年 2 月 1 日)

すべての教会員が医療伝道の働きにとりかかるべき時がきた。世は身体的にも霊的にも両方病んだ犠牲者であふれているらい病の病院である。いたるところで、人々はわたしたちに委ねられた真理の知識の欠乏のために滅びつつある。教会員はこれらの真理を与える自分たちの責任を自覚できるように、目覚める必要がある。(教会への証 7 巻 62)

9月28日

癒して下さるわたしたちの救い主

「わが神、主よ、わたしがあなたにむかって助けを叫び求めると、あなたはわたしをいやしてくださいました。」(詩篇 30:2)

愛する同情深い贖い主を去って人間の友へ向かつてはならない。彼らは、自分の持っている最善のものをくれたとしても、あなたを悪に導くかもしれない。すべての問題をイエスにもって行きなさい。あなたの無力な魂をこのお方にあずけなさい。このお方はあなたの重荷を引き受けられるばかりでなく、あなたを受け入れ、強め、慰めてくださる。このお方はあらゆる病気の偉大な癒し主であられる。(レビュー・アンド・ヘラルド 1901 年 11 月 19 日)

病人の神経質な臆病さは、彼らが、苦しむ全人類に対して救い主が持つておられる熱烈な関心を知るようになるとき、克服される。ああ、キリストの愛の深さよ！わたしたちを死から贖うために、このお方はカルバリーの十字架上で死なれたのである。(同上 1905 年 2 月 2 日)

なぜわたしたちは、仲間の病人や苦しむ人々を、わたしたちの信仰の腕の中で、神の御前に差し出さないのでしょうか。なぜ偉大な癒し主を信じるよう彼らを教えないのでしょうか。なぜ約束をつかみ、病人を神に連れて行き、このお方の癒しの力が現されるように祈らないのでしょうか。なぜ、「信じる者には、このようなしが伴う」という約束を嘆願しないのでしょうか(マルコ 16:17)。これは神の子らの特権であり、信仰は、信仰の保証として得られるすべてをつかむべきである。

キリストの約束は、使徒時代のときと同じように今も新鮮で、力あり、信頼に値するものである。ある人々は信仰の癒しの問題を極端に進めてきたため、それによってこの主題に多大な損害をもたらした。しかし、神を信じる信仰の必要性は、いつも教会の前にたもたれるべきである。わたしたちの特権の実現は、ほとんどやんでしまった。任務のこの部分をわたしたちの実生活に持ち込もうではないか。それは、み言葉を宣べ伝えるのと同じくらい重要なことである。(同上 1898 年 7 月 19 日)

救い主は、人がご自分の力をつかんで力を得ることができるよう、誘惑に耐え、悪に抵抗するために、栄光の宮廷を去ってわたしたちの世に来られた。生きた信仰によってキリストの許に来る魂は、このお方の力を受ける。そして彼の病は癒されるのである。(同上 1909 年 1 月 21 日)

癒しの水の川

「おおよその川の流れる所では、もろもろの動く生き物が皆生き、また、はなはだ多くの魚がいる。これはその水がはいると、海の水を清くするためである。この川の流れる所では、すべてのものが生きている。川のかたわら、その岸のこなたかなたに、食物となる各種の木が育つ。その葉は枯れず、その実は絶えず、月ごとに新しい実になる。これはその水が聖所から流れ出るからである。その実は食用に供せられ、その葉は葉となる。」(エゼキエル 47:9, 12)

エゼキエル 47:1-12 に与えられている象徴は、この時代のための真理が伝えられるべき方法を描写している。小さな方法によって始めた多くの人々によって、大きな働きがなされるのである。見せびらかしによらず、あるいは人間の側の何らかの考案によらず、人間の代理者の心に働く聖霊の働きを通して、多くの魂を感動させる。救い主はこの方法によって働かれる。このお方の方法が、このお方に従う人々の方法になるとき、このお方の祝福が彼らの働きに伴うのである。(原稿リ-ス 20 巻 102)

[エゼキエル 47:8-12 引用]。このような命と癒しの川こそ、神はそれらを通して働くご自分のみ力によって、わたしたちのサニタリウムがそうなるよう計画しておられる。(教会への証 6 巻 228)

第三天使のメッセージが大声で伝えられるとき、全地は彼の栄光で明るくされ、聖霊が神の民に注がれる。栄光の財源が第三天使のメッセージのこの最後の働きのために蓄積されてきた。約束—聖霊の降下—の成就を求めて上った祈りは、一つとして失われていない。一つ一つの祈りは蓄えられ、天来の感化の癒しの洪水と蓄積された光を全世界にあふれさせ、注ぎ出す用意ができている。(原稿リ-ス 2 巻 206)

主が悔い改めた魂に許しを語られるとき、彼は熱情に満ち、神への愛に満ち、真剣さと精力に満ちる。そして、彼が受けた命を与える霊は抑えることができない。キリストが彼のうちにあって、永遠の命へとわきあがる水の泉なのである。(伝道 228, 229)

9月30日

純潔で清く単純な働き

「主は言われる、わたしはあなたの健康を回復させ、あなたの傷をいやす。」(エレミヤ 30:17)

網を捨ててキリストに従うように召された弟子たちは、大学教育を受けていなかった。キリストも受けておられなかった。この方は単純さのうちに一真理に生き、宣べ伝えて一ご自分の人としての生涯を送られた。福音の光がこのお方から聞く人々の道を照らしていた。わたしたちは自分たちの子供や青年に単純さの重要性を教えるなくてはならない。しばしば、すばらしい学識の高さに到達しようとして強いられる負担—これは奨励してはならない。わたしは多くの青年たちが、自分の教育を成しとげられる前に、この知識の願望のゆえに、破壊されてしまうのを見てきた。

もしわたしたちが健康でいたいなら、理性がわたしたちの生き方において導くようにしなければならない。もしわたしたちが自らを神との正しい関係におくなら、わたしたちの存在は、このお方の指示に応えるのである。……

わたしたちには今日生きた癒し主がおられる。わたしたちは薬ではなく、大いなる医者に頼る必要がある。もしわたしたちの国のすべてのサニタリウムが神と生きたつながりのうちにあるなら、真理が燃えるともし火として、わたしたちの施設から出て行くはずである。それらは人々に憐れみと光と同情を伝える。……

今はわたしたちが光の武具を身につけているべき時である。今は、わたしたちが世の歴史のこの段階において、世に対する自分たちの義務を理解しているべき時である。ああ、わたしたちの都市にこのような邪悪さが存在していながら、民の多くは眠っている!自称キリスト者たちは眠っている。彼らは自分たちになすべき働きがあることを理解しない。

苦しむ人々に奉仕する救い主の働きは、いつもみ言葉の伝道と結合していた。このお方は、いずれも同じ強力な力で、福音を宣べ伝え、弱いものを癒された。このお方は今日も同じことをなさる。しかし、わたしたちは病人を力ある癒し主と接触させることによって、わたしたちの分を果たさなければならない。(ビュー・アード・ハールド 1909年1月21日)

どんな社会においても、神のみ言葉についての説教に耳をかさず、どんな宗教的集会にも出席しない人が大勢いるものである。福音によって彼らを動かそうとするならば、その家庭に持ちこまなければならない。肉体的な要求を満たすことが彼らに近づきうる唯一の道となる場合がある。(ミストリー・オブ・ヒーリング 116)

助けることは幸せなこと

「そして、神は教会の中で、人々を立てて、……補助者（助け手）の賜物を……おかれた。」（コリント第一 12:28）

人はみな自分自身にとって益となり、また他人に役立つことを何かみつけ出し、てしなくてはならない。神は働くことを祝福としてお命じになったのであって、勤勉に働く者だけが人生の真の栄光とよろこびをみいだすのである。家庭の中で自分の義務を快活に果し、父母の重荷を分担する子供や青年を、神はやさしい保証をもって受け入れてくださる。このような子供たちは、社会の役に立つ人間として家庭から出て行くのである。……

イエスは、その弟子であると自称している多くの人々がするように、骨折りや責任を避けるようなことをされなかった。多くの人々が弱くて無能であるのは、この訓練を避けようとするからである。彼らにはとうとい愛すべき性質があるかもしれないが、困難に出会ったり、障害をのりこえたりしなければならぬときになると、無気力でほとんど役に立たない。キリストのうちにみられる積極性と行動力、堅固で強力な品性は、イエスが受けられたのと同じ訓練によってわれわれのうちに発達させられるのである。しかもイエスの受けられた恵みはわれわれのためである。……

イエスをご自分の労働に快活さと気転とを持ち込まれた。家庭生活と職場に聖書の宗教をとり入れ、世の中の仕事の重荷を負いながらなお神の栄光に対して目が澄んでいるためには、非常な忍耐と霊性がなければならない。この点においてイエスは人々の助けとなられた。彼は天の事物のために時間を費したり考えたりする余裕がないほどこの世の苦労を一ぱいかかえておられなかった。たびたびイエスは詩篇や天の歌をうたって心のよろこびを表明された。ナザレの住民たちはイエスが神への賛美と感謝をささげられる声をたびたびきいて心のよろこびを表明された。ナザレの住民たちはイエスが神への賛美と感謝をささげられる声をたびたびきいた。イエスは歌を通して天とまじわられた。仲間の者たちは、働きに疲れて不平を言うと、イエスの口から出る美しい歌の調べに元気づけられるのだった。……

ナザレで人目につかず暮しておられた年月の間、イエスのいのちは同情とやさしさという流れとなって人々にそそがれた。老人たちも、悲嘆にくれている者たちも、罪の重荷を負っている者たちも、無邪気によるこんで遊んでいる子供たちも、森の小さな動物たちも、荷物をつけた忍耐強い動物たちも、イエスがいらっやればみなもって幸福になった。（各時代の希望上巻 66, 67）

10月2日

エデン以来の助け手

「また主なる神は言われた、『人がひとりでいるのは良くない。彼のために、ふさわしい助け手を造ろう』。(創世記 2:18)

神は、男の伴侶また助け手となり、彼と一つになって、彼を元気づけ、励まし、祝福するために、男から女を造られた。そして今度は彼が彼女の力強い助け手となるべきである。聖なる目的をもって夫婦関係に入るすべての者、夫は妻の心の純潔な愛情を得るべきであり、妻は夫の品性を和らげ、向上させ、それを完全にし、ふたりに対する神のご目的を果たすべきである。(サイン・オブ・ザ・タイムズ 1899 年 9 月 6 日)

十分な教育を受けているとみなされ、どこかの教育機関を優等で卒業している多くの婦人が、恥ずかしいほど生活上の実際の義務に無知である。彼女たちは、家族の適正な調整のために必要な、またそれゆえに家族の幸福また健康に不可欠な資質に欠けている。彼女たちは婦人の権利やその高められた領域について語ることはできるが、自分自身は婦人の真の領域にはるか及ばず下に落ちてしまっている。有益な仕事に対する無知は、人の創造における神のご計画に反しており、また断じて真の紳士淑女に不可欠な特徴ではない。(同上 1886 年 8 月 26 日)

ある母親は、夫が不信心者であると言う。彼女には子供がいるが、彼らは父親に母親を軽蔑するよう教えられている。彼女は子供たちのために深く重荷を負わされている。彼女は自分の進むべき道がわからずにいる。それから、彼女は自分が神のみ事業の中で何かをしたいという熱望を言い表し、わたしに、もし彼らのために何の役にも立てないとわかれば、家族を離れる義務があると思うかと尋ねるのである。

わたしは次のように答える。姉妹よ、わたしはあなたがどうやって主のみ前に潔白でいながら、夫と子供たちを離れることができるか、わからない。わたしはあなたが自分自身こうすることができると感じるとは思えない。あなたの持っている試練は非常につらいものであるかもしれない。あなたに軽蔑が示されるとたびたび心が痛むであろうが、あなた自身の子供を世話するのはあなたの義務であることは確かである。これはあなたに定められた働きがある、あなたの畑である。それは岩だらけで落胆させる土地であろうが、ひるまず、良心的に、落胆させるすべての状況にもかかわらずあなたの義務を行うすべての努力の中で、あなたには道連れがおられる。イエスはあなたの助け手であられる。(原稿リ-ス 3 巻 369)

助ける者への助け

「イスラエルよ、あなたはしあわせである。だれがあなたのように、主に救われた民があるであろうか。主はあなたを助ける盾、」(申命記 33:29)

牧師である兄弟たちよ、あなたは、自ら食卓のことに携わるために、家にいつづけていてはならない。また諸教会の間を行ったり来たりして、すでに十分信仰に確立している人々に説教をしていてはならない。人々に、自分のうちに光を持ち、牧師に頼るべきではないことを教えなさい。牧師が新しい伝道地に自由に入ることができるために、彼らはキリストを自分の助け手とし、互いに助けあうために自分を教育しなければならない。(ヒストリカル・スケッチ 139)

キリストは、知恵と力を求めてご自分に逃げ込む者を援助なさる。もし彼らが魂をへりくだらせ、イエスにより頼みつつ義務と試練に向かうなら、このお方の力強い天使が彼らの周りにおり、彼らが信頼しているお方はあらゆる緊急時に、すべてに十分な助け手であることを証明される。(教会への証 4 巻 599)

牧師が教会員に与えることのできる最上の助けは、説教をすることではなく、彼らのために働く計画を立てることである。一人ひとりに他の人のために行う何かを与えなさい。すべての者が、キリストの恵みを受けている者として、このお方のために働く義務の下にいることが分かるよう助けなさい。そしてすべての者に働き方を教えなさい。とくに信仰に新しく入ってくる人々に、神との共労者となるための教育を受けさせなければならない。もし働きに取りかかるなら、落胆している者はまもなく自分の落胆を忘れる。弱い者は強くなり、無知な者は知的になり、すべての者はイエスのうちにあるがままの真理を提供する準備ができる。彼らは、ご自分の許に来るすべての者を救うと約束しておられるお方がつねに変わらない助け手であられることを見出す。(同上 6 巻 49, 50)

神は、ご自分を信じ、信頼する者にとってあらゆる緊急時に盾であり助け手であられる。困難、危険、落胆に取り巻かれるとき、わたしたちは信仰と原則を放棄するのではなく、与えられたあらゆる尊い光の光線を大切にし、わたしたちの神がお与えになった責任に忠実でなければならない。

当惑し悩んでいるあなたは見上げて励ましを受けなさい。あなたの方法をあわれみ深い贖い主に信仰のうちに委ねなさい。このお方はあなたの関心とご自分の関心をひとつにして、あなたの悩みの時に悩んで下さる。あなたが自分の重荷を負うのを助けて下さる。(サインズ・オブ・ザ・タイムズ 1878 年 2 月 28 日)

10月4日

神の態度を身につける

「恐れてはならない、わたしはあなたと共にいる。驚いてはならない、わたしはあなたの神である。わたしはあなたを強くし、あなたを助け、わが勝利の右の手をもって、あなたをささえる。……あなたの神、主なるわたしはあなたの右の手をとってあなたに言う、『恐れてはならない、わたしはあなたを助ける』。主は言われる、『虫にひとしいヤコブよ、イスラエルの人々よ、恐れてはならない。わたしはあなたを助ける。あなたをあがなう者はイスラエルの聖者である。』」（イザヤ 41:10,13,14）

緊急のことが起こり、助けが必要なとき、働き人は「それはわたしの仕事ではない」と言ってはならない。自分は割り当てられた仕事だけをするのであり、それ以上はしないという考えを持ち、またいつでも何処でも助けが必要とされるときに責任を感じない助け手は、自分の思いからこの考えをただちに捨てなければならない。彼は、緊急時に時間外の働きを頼まれるときに、決して不当な扱いを受けていると感じてはならない。追加で助けが必要なとき、働き人はクリスチャンの柔和を持って、快く手伝おう。そうすれば祝福を受ける。

ある者はささいなありふれた義務をするよう頼まれると強い嫌悪を感じる。しかしこれらは彼らがどのように果たすかを知る必要のある義務である。わたしたちをより大きな責任で役立つ者にするのは、小さな事柄における忠実さである。もっとも成功する骨折り人は、ささいな事柄で快く神に奉仕する働きを取り上げる人々である。一人ひとり、自分の人生の糸をあつかって、模様を完成させるのを助けるためにそれを織物に織り込まなければならない。有用でありたいと願う者は、つねに仕事を見つけることができる。彼らは時間を持て余すことはない。（医療伝道 176, 177）

聖書に教えられている協力について教訓を学ぶことは、子供たちにとっても親にとってもまた教師にとっても有益である。その多くの実例の中で注目に値するのは幕屋の建設で、これはまた品性を築く上にも実物教訓となっている。そのときすべての民すなわち「すべて心に感じた者、すべて心から喜んでする者」はみな力をあわせたのであった（出エジプト記 35:21）。エルサレムの石垣が帰還した捕虜たちによって貧窮と困難と危険の最中に再建され、あの大事業が「民が心をこめて働いた」ので、みごとに完成したことを読んでいただきたい（ネヘミヤ 4:6）。……

「わたしたちは、お互に肢体なのであるから」（エペソ 4:25）（教育 336）

最高の助け手にならう

「主よ、力のある者（多くの者）を助けることも、力のない者を助けることも、あなたにおいては異なることはありません。われわれの神、主よ、われわれをお助けください。われわれはあなたに寄り頼み……ます。」（歴代志下 14:11）

「小事に忠実な人は、大事にも忠実である」（ルカ 16:10）。

人生に成功する道は、世人がいわゆる小事と名づけていることに良心的に注意を払うことである。小さな慈善行為、自己犠牲の小さな行動、人の助けとなるちょっとした言葉を語ること、小さな罪に注意を怠らないこと—こうしたことがキリスト教である。日々の祝福を感謝のうちに認めること、日々の機会を賢明に活用すること、ゆだねられた才能を勤勉に養うこと—こうしたことが主の要求しておられるところである。（青年への使命 137, 138）

救い主が奇跡をもって群集に食をお与えになったとき弟子たちの果たした役割を考えていただきたい。食物はキリストのみ手の中にあつてふえ、弟子たちがそのパンをもらって、待っている群集に与えたのであつた。（教育 336）

多くの人が神を信ぜず、人に対する信頼を失っているが、情深い行為や助力には感謝をする。世俗的な賞賛や報酬の目あてなしにこうした人の家庭にきて、病める者を看護し、飢えた者に食を与え、裸である者に着せ、悲しむ者を慰め、またキリストの愛とあわれみをやさしく示して、人間の働き人はその使者にすぎないことを表わすとき彼らは、こうしたことから心を動かされる。そして、感謝の念が起ると共に、信仰の火がともされる。さらに神が自分たちを守っておられることを悟り、み言葉が教えられるときに耳を傾ける気持になる。（ミストリー・オブ・ヒーリング 116, 117）

主が助けの全くない伝道地をあなたに気づかせて下さり、助ける機会をお与えになるときはいつでも、その機会を決して逃してはならない。

今あなたに届く召しに聞き従いなさい。この場合、あなたが役に立ち、助けになるかどうかは、あなたを世の虚栄と利己心から分離させる境界線の明確さにかかっている。主にこのお方のものを返しなさい。そうすることによって、最高の意志があなたの意志を支配し、あなたをキリストの自己犠牲の精神で満たしていることを認めなさい。これを心から主に対するように行いなさい。わたしたちは万物の終わりが近づいていることを信じないのであろうか。（医療伝道 1903 年 1 月 1 日）

10月6日

どこから、わたしたちは助けを求めるか

「助けを得るためにエジプトに下り、馬にたよる者はわざわいだ。彼らは戦車が多いので、これに信頼し、騎兵がはなはだ強いので、これに信頼する。しかしイスラエルの聖者を仰がず、また主にはかることをしない。それにもかかわらず、主もまた賢くいらせられ、必ず災をくだし、その言葉を取り消すことなく、立つて悪をなす者の家を攻め、また不義を行う者を助ける者を攻められる。」(イザヤ 31:1, 2)

あなたはどのように執筆し出版するか、また何を語るかを学ぶために、世を見てはならない。あなたのすべての言葉と働きに次のように証させなさい。「わたしたちは……巧みな作り話を用いることはしなかった。」「こうして、預言の言葉は、わたしたちにいっそう確実なものになった。あなたがたも、……この預言の言葉を暗やみに輝くともしびとして、それに目をとめているがよい。」(ペテロ第二 1:16,19) (エレテッド・メッセージ 2 巻 371)

綿密で完全な働きが、神の民の間で継続されなければならない。わたしたちは、古代イスラエルのように、なんとすみやかに神とこのお方の驚くべき働きを忘れて、このお方に反逆することであろう。ある者は世を見て、ちょうどイスラエルの子らがエジプトをふり返り、彼らがそこで楽しんでいたい良いものを欲したように、その流行にならい、その楽しみにあずかりたいと願う。しかし、神は彼らを試すためにそれらを差し控えて、それによってご自分に対する忠誠をテストすることを選ばれたのであった。神は、彼らが非道な偶像崇拜の人々への奴隷の境遇であった間エジプトで楽しんでいた放縱よりも、ご自分の奉仕と奇跡的に彼らにお与えになった自由をより大事に尊重するかどうかを知りたいと思われた。

イエスに本当に従う一人びとりには、なすべき犠牲がある。神は彼らを試し、彼らの信仰の真実性をテストされる。(霊的賜物 4 巻 78)

神は、万物の終りが近づいているという聖なる厳粛な真理を教えると公言する人々、神の律法の保管者であると主張する人々が快樂への愛を大切に、好意と賞賛を求めて世を見ることを禁じられた! キリストは彼らにそのような模範を与えてはおられない。(レビュー・アンド・ヘラルド 1882 年 6 月 20 日)

真理を信じていると主張する人々は、世の方法に基づいて真理を前進させるという提案を受け入れる。しかし、わたしたちの希望は神のうちにある。そして、世の計画によってかたちづくられることを拒み、神の助けをしきりに求めることによって、このことを明らかにすべきである。(同上 1892 年 8 月 23 日)

家庭のただなかでの教訓

「見よ、神は全き人を捨てられない。また悪を行う者の手を支持されない。」(ヨブ 8:20)

ある者は伝道者として遠く離れた国々へいくことを話す。そしてこれは主がそのように導かれるなら良いことである。罪を自覚したある兄弟が、かつて「わたしは改心した者になって、異邦人を助けるために、彼らのところへ出かけられるようになりたい」と言った。わたしは「なぜですか。家庭で始めなさい。あなたがいるところで神と正しい関係になり、あなたの罪を捨てなさい。そして家庭伝道者になりなさい」と言った。もしわたしたちが家庭で伝道者になることができないなら、他の分野で良いことをするのを期待することは決してできない。(説教と講和 1 巻 370)

愛をもって、やさしくあなたの子供たちに天のお父様であられる神のみ許に来ることを教えなさい。家庭の管理におけるあなたの模範によって、彼らに自制を教えなさい。家庭で役立つ者であるよう教えなさい。キリストはご自分を喜ばせるために生きることはなさらなかったことを彼らに話しなさい。(スパルディング・メイソン・コレクション 185)

年長者に配慮のある小さな行為をするのにすばやい若者たちのいる家族ほど、気持のよい光景はない。ママのために暖かい場所に大きな肘掛け椅子を置き、おばちゃんのために走って足置きをもっていき、パパの眼鏡を探し出し、こうした何十もの小さな行為が、抑えきれない愛の心を示す。しかし、もしママが決して「ありがとう!」とほほ笑い返さなければ、またパパが「ちょうど欲しかったところだったよ、スージー」とほほ笑い、その小さな配慮が喜ばれたことをそれとなく知らせないなら、子供たちはまもなくその習慣を止めてしまう。小さい子供は真似をする者であって、自分の周りにある精神をすぐにとらえる。それだからもし、母親の綿の糸巻きがひざから転がるときに、父親がそれを拾うために身をかがめるなら、輝く瞳はその行為を見て、すばやい思いがそれを心に書き留める。模範による方が、規則によるよりも千倍も速く、子供たちは互いに親切に語り、好意を感謝すること、優しく無我であること、家族の快適さのための思慮深さと思いやりを教えられる。男の子たちは、父親の礼儀正しい態度に心のうちに誇りを感じて、礼儀正しく、妹を助ける者となる。女の子たちは、母親にならって、兄たちがうるさく不注意な時でさえ、優しく忍耐強くなる。(健康改革者 1894 年 2 月 1 日)

10月8日

エジプトの教育を避ける

「そのエジプトの助けは無益であって、むなし。それゆえ、わたしはこれを『休んでいるラハブ（彼らの力は静かに座することである）』と呼んだ。」（イザヤ 30:7）

モーセを彼の敵に勝利できるようにしたのは、エジプトの学校の教えではなく、絶えず忠実に守る、しり込みしない信仰、最もつらい状況のもとでくじけない信仰であった。見たところ前方には足の踏み場が何もないようであったが、神の命令に従ってモーセは前進した。百万人以上の人々が彼に頼っており、彼は一步一步、一日一日彼らを導いた。神は、ご自分の民が困難に耐える中で経験を、彼らが危機に陥ったとき、神にのみ救済と救出があることを知ることがするために、荒野を通ってのこれらの孤独な旅行をお許しになった。このようにして彼らは神を知って信頼し、生きた信仰をもってこのお方に仕えることを学ぶことができた。

神は完全に教育を受けた人間に頼ってはおられない。このお方の働きは、このお方の僕が、わたしたちのある学校で施そうとしているような、長々と入念に練られた準備を経るのを待つことはない。このお方はご自分との共労者であるという特権を喜ぶ人々—以前に植えつけられた理論を気かけず、ご自分の要求に無条件に従うことによって、このお方に名誉を帰す人々—を望んでおられる。自己をわきへおき、自分の心に聖霊の働く余地を与え、主によって課された必要な訓練に耐えながら、途中でつぶやくことなく弱ることなく、神に完全に献身した生活を送る人々の有用さには限りがない。（両親、教師、生徒への勧告 408, 409）

青少年たちにとって、自分のためだけのレクリエーションよりは、他人のためになるレクリエーションのほうがはるかに大きな祝福となる。……

生徒たちが、庭園の仕事をしたり、野原や森に遠足をしたりしているときに、そういう気持ちのいい場所で、自分たちといっしょに自然の美しい事物を楽しむことができないで、家の中に閉じこもっている人々のことを思うように教えられると、彼らは新しい関心をおぼえるであろう。

注意深い教師は、いろいろな機会をとらえては、生徒たちが人の助けとなる行為をするように導くことができる。（教育 251, 252）

開拓者となるためにペアを組む

「ふたりはひとりにまさる。彼らはその労苦によって良い報いを得るからである。すなわち彼らが倒れる時には、そのひとりがその友を助け起す。しかしひとりであって、その倒れる時、これを助け起す者のない者はわざわいである。」(伝道の書 4:9, 10)

神は、暗闇と過ちの中にいる地域社会に入っていき、主人であるお方のためには賢く忍耐強く働くよう、クリスチャン家族を召しておられる。これに応えるためには自己犠牲が必要である。多くの者があらゆる障害が取り除かれるのを待っている間、魂が世界中で希望も神もなく死んでいつている。多くの者が、本当に多くの者が世間的な有利さのために、科学的な知識を得るために疫病を生じる地域へ危険を冒して入り、困難と窮乏に耐える。救い主のものである他の人々に伝えるためにこれをする気持ちのある者は何処にいるであろうか。暗闇にいる人々に頼み主を指し示すことができるために、福音の必要な地域に移る男女は何処にいるであろうか。(教会への証 9 卷 33)

自給伝道者はしばしば非常に成功する。始めは小さくつましい方法であるが、彼らの働きは神の御霊の導きのもとに前進するにつれて大きくなる。二人かそれ以上の者が伝道の働きのために共に出て行こう。彼らは、働きを率いている人々から資金的援助を受けるような特別な励ましは何も受けないかもしれない。しかし、それでも祈り、歌い、教え、真理を生きながら、前進しなさい。彼らは文書伝道の働きに取りかかり、この方法で多くの家族に真理を紹介することができる。彼らが自分たちの働きを前進させるとき、祝福された経験を得る。彼らは自分の無力を感じるが、主が彼らの前を行かれ、金持ちや貧乏人の中に好意と助けを見出す。これらの献身的な伝道者の貧しささえも人々に接触する方法である。彼らが自分たちの道を進んで行くと、彼らが霊的食物をもたらし人々によって多くの方法で助けを受ける。彼らは神が自分たちにお与えになるメッセージを担い、彼らは成功という栄冠を受ける。これらの教師がいなければ決してキリストに勝ち取られることのない多くの人が、真理の知識に連れてこられる。(同上 7 卷 23)

10月10日

芳しい働き人仲間

「ついでに、真実な協力者よ。あなたにお願いする。このふたりの女を助けてあげなさい。彼らは、『いのちの書』に名を書きとめられているクレメンスや、他の同労者たちと協力して、福音のためにわたしと共に戦ってくれた女たちである。」(ピリピ 4:3)

光が与えられている人々は、貴重な香油に封をしてしまうのではなく、つばを割って、その香りをあたり一面に漂わすべきである。(スパルディング・メイソン・コレクション 125)

天の家族に喜びを与えるのは愛である。家庭生活で愛を培う人々は、キリストに似た品性を形づくり、家族の輪を超えて助けとなる感化力を及ぼすために自制するが、それは親切な思慮深い世話によって、快い言葉によって、キリストのような同情によって、情け深い行為によって他の人々を祝福することができるためである。彼らは餓えた心の人々に気づくのも、困窮し苦しんでいる人々のためにごちそうを備えるのもはやい。……

主がわたしたちの家庭の外にいる他の人々に善を行うようにとお命じになるとき、それは、家庭を思うわたしたちの愛情が減少するようにということでも、またこのお方がわたしたちの同情心を広げるようにと望んでおられるがゆえに、自分の親族や自国をより愛さなくなるようにという意味でもない。(レビュー・アンド・ヘラルド 1895年10月15日)

ある人々はタラントしかないかもしれないが、もし彼らがそのタラントを用いるなら、そのタラントは増す。神は、その人が持っていないものによらず、持っているものに従ってその奉仕を評価なさる。もしわたしたちが誠実と愛をもって日ごとの義務を行うなら、あたかももっと大きな働きをしたかのように、主人であるお方の是認を得る。わたしたちは、わずかのタラントとつつましい義務の実行に対してのみ会計報告が求められているときに、大きな奉仕や多くのタラントで取引をすることを切望することは、止めなければならない。ささいな日常の義務を無視してもっと重大な責任を得ようと努力することにより、わたしたちは神が自分に与えておられるその働きを行うのを完全に失敗する。

ああ、この教会にキリストが奉仕を命じておられる事実を印象づけることができればと、わたしは願う！兄弟姉妹がた、あなたがたはキリストの僕になっているのであろうか。もしあなたがたが自分自身に奉仕するために、ほとんどの時間を捧げているなら、主人であるお方があなたがたに管理人としての会計報告を出すようお命じになるとき、このお方にどのように答えるつもりであらうか。(教会への証4巻 619)

善良なフィベを訓練する

「ケンクレヤにある教会の執事、わたしたちの姉妹フィベを、あなたがたに紹介する。どうか、聖徒たるにふさわしく、主にあつて彼女を迎え、そして、彼女があなたがたにしてもらいたいことがあれば、何事でも、助けてあげてほしい。彼女は多くの人の援助者であり、またわたし自身の援助者でもあった。」(ローマ 16:1, 2)

キリストの恵みによって高貴にされた謙遜で自らを捧げた女性のために、助けを必要とする人々を訪問し、失望している人々に光を注ぐ道が開かれている。彼女たちは彼らと共に祈りをし、彼らにキリストを指し示すことによって、気力をくじかれた者の元気を引き上げることができる。(教会への証 6 巻 285)

ある人々はつましい義務だと見えること—例えば料理—toに召される。しかし、料理の科学は些細なことではない。食物を上手に料理することはもっとも不可欠な手腕の一つであり、音楽教育や裁縫にまさる。わたしはこれによって音楽教育や裁縫の価値を下げているのではない。これらも不可欠なものである。しかし、さらにもっと重要なのは、健康的で食欲をそそるような食事を用意する手腕である。このわざは命と密接に関わっているがゆえに、すべての芸術の中でもっとも価値あるものと見なすべきである。(サザン・ウォッチマン 1901 年 10 月 31 日)

ある母親は、自分の娘に怠けた状態にいること、あるいは少しましだとしても、ふちかがりをしたり、鉤針編みをしたり、あるいは刺繍をしたりすることを許して、彼女たちがすべきことをするために、雇用の少女を雇い入れることにより、自らの手で戸を開け、事実上悪魔を招き入れている。彼女たちは子供が他の若い友だちを訪問し、自分たちで親しくなり、さらには家庭からいくらか離れた、両親の見守りから出て行くことさえ許し、そこで自分たちが好むことを好きなだけさせる。サタンはそのような機会をすべて利用し、このような子供たちの思いを責任をもって引き受ける。(母親への訴え 14)

子供たちには小さいときから助けになり、両親の重荷を分かちあうように教えるなければならない。このようにすることにより、彼らは疲れた母親の気苦労を軽くして大きな祝福となることができる。子供たちが活動的な労働に携わっている間、時間を持て余すようなことはなく、うぬぼれの強いおしゃべりで不適当な友だちと交わる機会が少なくなる。このような悪い交わりは無邪気な少女の良い作法を損なうことによって、彼女の全生涯を破滅させるかもしれないのである。(同上 16)

10月12日

希望を吹き込むのを助ける

「キリストにあるわたしたちの同労者ウルバノと、愛するスタキスとに、よろしく。」
(ローマ 16:9)

人と交際するとき、その人の経験の中に人間の目には封ぜられた部分があることを知らなければならない。その記憶の中には好奇心にもえた目から厳重に守られている悲しい歴史があるものである。そこには苦しい境遇に対する長い間のつらい戦いの記録があつて、たぶん、それは家庭生活の中の悩みかもしれないが、それが勇気と信頼と信仰を弱めるのである。非常な困難の中に人生の戦いを戦っている人は、ちょっとした愛の行為によって力づけられ、励まされる。こういう人にとっては、真の友人からの力強い助けの手は金や銀よりも尊く、親切な言葉は天使の微笑のようにうれしいものである。

貧困と戦い、わずかな報酬のためにひどく働かなければならず、しかも生活上の必要の最低しか満たすことができぬ人がたくさんいる。よくなる望みもなく、苦勞、困窮に悩まされ、重荷が非常に強く感じられる。そして苦しみや病気が加わるとき、その重荷にもう耐えられなくなる。思ひわずらい、悩み、どこに助けを求めるかさえない。こうした人の試練、心の痛み、失望に同情しなさい。そうするとき、彼らを助ける道が開かれる。神の約束を彼らに告げ、彼らのため共に祈り、望みをもってその心を励ましなさい。(ミストリー・オブ・ヒーリング 130, 131)

他の人々の育ちが良くなかろうと、墮落していようと、不面目をもたらし、品位が低かろうと、わたしたちは彼らを輕蔑し、無関心に彼らのそばを過ぎ去るべきではない。そうではなくキリストが彼らのために死なれたこと、もしこのお方がわたしたちにご自分の命を与えて、わたしたちの魂に光を差し込んでくださらなかったなら、わたしたちが輕蔑しがちな人々よりもっと悪い状態になっていたはずであるという事実を考えなければならない。わたしたちは、わたしたちが輕蔑するよう誘惑される墮落した男女、青年を、イエスが買い取られたことを思い出さなければならない。(ビュー・アノド・ヘラルド 1895 年 10 月 15 日)

クリスチャンには自己のために生きるという希望はない。彼は自分が持っているすべてを捧げ、主人であるお方の奉仕に捧げることを喜ぶ。彼はキリストに魂を勝ち取るという、口で言い表せない願いに動かされる。この願いを少しも持っていない人々は、自分自身の救いを心配する方が良い。彼らに奉仕の精神を求めて祈らせなさい。(教会への証 7 卷 10)

メロズののろいを避ける

「主の使は言った、『メロズをのろえ、激しくその民をのろえ、彼らはきて主を助けず、主を助けて勇士を攻めなかったからである』。」(士師記 5:23)

教会員は自分たちがする能力のある熱心な努力をするために、個人的に覚醒していないので、働きの各分野は、熱烈な敬神と、献身的なへりくだった神を畏れる働き人が足りないゆえに弱められている。キリストの十字架の兵士は何処ににいるのであろうか。神の栄光にしっかりと目を留めている正直でひたむきな神を畏れる者に、誤りに対する戦いの準備をさせなさい。この霊的な戦いの時に、あまりにも多くの弱々しい臆病な心の持ち主がいる。ああ、彼らが弱さから抜け出て強くなり、戦いにおいて勇敢になり、異邦人の軍隊を敗走させるように！

メロズによって現されている部類の者がいる。伝道の精神は彼らの魂をしっかりと掴んだことが一度もない。外国伝道の呼びかけが彼らに行動をおこさせたことはない。神のみ事業に何もしていない—魂を神に少しも勝ち取っていない—この人々は神にどのような申し開きをするのであろうか。そのような者は「悪い怠惰な僕よ」という公然の非難を受ける(マタイ 25:26)。

教会の関心と働きが、自国伝道と外国伝道の両方でもっと熱心にもっと断固として広げられなければならない。地上の宝を確保するために自分のタラントを用いて成功している人々は神のみ事業とその王国建設を進めるために、いまこれらの能力を用いなければならない。神のために聖別された彼らの機転と能力は受け入れられ、神は人を誤謬から真理へと向き変えらせる広大な働きの中で、それを効果のあるものとなる。わたしたちの若い男女に主人であるお方のためになすべき働きがあるかないかを知るために、彼らは心を深く探る必要がある。金銭がすることのできない、なすべき働きがある。見捨てられている地域には熱心な働き人、その心がキリストの愛と魂への愛で温められている人々に補わなくてはならない。伝道分野に入っていくすべての者に、耐えるべき困難と試練がある。彼らは困難な働きを、しかもたくさん見出すことであろう。しかし品性の正しい特質の人々は、主の腕をしっかりとつかんで、困難、失望、窮乏の下で耐え抜く。(ヒストリカル・スケッチ 290)

10月14日

理論を实践する

「信じます。不信仰なわたしを、お助けください」。(マルコ 9:24)

どんなに多くの光や証拠があたえられても、それだけでは魂をキリストの内にあつて自由にすることはできない。そこには、「信じます。不信仰なわたしを、お助けください」と真剣に叫ぶ魂の能力と意志と精力のあらわれがなくてはならない(マルコ 9:24)。(青年への使命 102)

生ける活動的な信仰によってキリストをつかみなさい。あるがままの、無力な依存している状態でこのお方のところへ来なさい。そして次のように言いなさい。「主よ、信じます。不信仰なわたしを、お助けください」(マタイ 9:24)。あなたの生涯、あなたの克己と自己犠牲を研究するよう助けてください。み言葉の一つ一つの意味においてクリスチャンになれるよう助けてください。(ビュー・アンド・ペルド 1910 年 2 月 17 日)

わたしたちの教会員は実際の信心の知識が大いに必要である。彼らは克己と自己犠牲を实践することが必要であり、自分たちがキリストのようである証拠を世に示す必要がある。それゆえキリストが彼らに要求なさる働きは、彼ら自身が負うべき重荷をある委員会や施設に負わせることによって、代理人にさせるべきではない。彼らは、自分たちの財産、時間、同情心、個人的な努力、病人を助け、悲しんでいる者を慰め、まずしい者を樂にし、失望している者を励まし、暗闇に在る魂に光を照らし、罪人にキリストを指し示し、神の律法の義務を人の心に戻すことによって、品性においてキリストのようになるべきである。(教会への証 6 巻 263, 264)

クリスチャンの重荷を感じる人々は、熱心な疲れを知らぬエネルギーをもって、自分たちが単なる理論上の信者であることに満足してはいないことを、その働きによって証してきた。彼らは光のうちを歩むよう努め、自分たちの信仰を实践し、信仰と働きを結びつけてきた。彼らは、主が果たすようにと明示されたまさにその働きをなしたので、多くの魂が光を受け、罪を自覚し、助けられた。(同上 299)

わたしたちの前方や周囲のいたるところにある実際の働きの中で、わたしたちは、キリストの力を信じる信仰によって、神のみもとに近づき、自分にできる最善をなさなければならない。なぜなら、わたしたちには、神が応えて、わたしたちを引き寄せてくださるという約束があるのではないだろうか。それだからわたしたちには、自分の感化力の及ぶ範囲に連れてこられた人々をみな助けることができるという祝福された保証がある。(原稿別冊 18 巻 126)

靈感を受けた統治（まつりごと）

「ひとりのみどりごがわれわれのために生れた、ひとりの男の子がわれわれに与えられた。まつりごとはその肩にあり、その名は、『靈妙なる議士、大能の神、とこしえの父、平和の君』となえられる。そのまつりごとと平和とは、増し加わって限りなく、」（イザヤ 9:6, 7）

わたしたちの主は真理であり、このお方は愛であり、その統治権は全宇宙に及んでいる（世界総会日誌 1897 年 2 月 17 日）

天使たちは、神に仕える者で、神のみ前から流れ出る光で輝き、みこころを果たすためにすみやかに飛ぶことのできる翼が与えられているのである。しかし、神の受膏者、「神の本質の真の姿」、「神の栄光の輝き」であられるみ子は、「その力ある言葉をもって万物を保っておられ」て、それらをすべて支配しておられる（ヘブル 1:3）。「初めから高くあげられた栄えあるみ座」は、彼の聖所のあるところであり、「公平のつえ」が彼の王国のつえであった（エレミヤ書 17:12、ヘブル 1:8）。「誉と、威厳とはそのみ前にあり、力と、うるわしさとはその聖所にある」「いつくしみと、まことはあなたの前に行きます」（詩篇 96:6; 89:14）。

愛の律法が神の統治の基礎であるから、すべての知的存在者の幸福は、その偉大な義の原則に彼らが完全に一致することにかかっている。神は、造られたすべてのものから愛の奉仕、すなわち、神の品性を理解することによってわきおこってくる崇敬を受けることを望まれる。（人類のあけぼの上巻 3）

教会は、神があるべき姿を計画されたとおりのもの、すなわち他世界にある神の家族の代表者であるべきである。（*レクテッド・メッセージ* 3 巻 17）

もし教会に原則と統治がなければ、その教会はばらばらになり、体として団結することはできない。（教会への証 3 巻 428）

弱く経験のない者は、弱くても、もっと希望の持っている人や、熟練した経験のある人々によって強くされることができる。全員の中で一番小さくても、彼はその建物の中で輝かなければならない石である。彼はキリストにつながっている組織された体の生きたメンバーである。（*レクテッド・メッセージ* 3 巻 16）

教会が秩序を実行し、強化できるように組織されていない限り、将来に希望はない。ただばらばらに四散するばかりである。（教会への証 1 巻 270）

10月16日

奉仕のために組織されている

「そして、神は教会の中で、人々を立てて、……管理者……をおかれた。」(コリント第一 12:28)

教会は奉仕のために組織されているので、キリストへの奉仕の生涯の中で、教会とのつながりは初めの一步である。キリストへの忠誠は、教会の義務を忠実に行うことを要求する。これは人の訓練の重要な部分である。そして、主人であるお方の命を吹き込まれた教会の中で、それは直接外の世界のための努力へと導く。(世界総会冊子 1902 年 7 月 1 日)

主の軍隊の真の兵士である一人びとりは、キリストの王国の利益を促進するために労する熱心で誠実、有能な働き人になる。だれも、慎重に歩んでいる兄弟に「あなたは主の働きをすべきではない。それを牧師に任せなさい」と、差し出がましく言わないようにしよう。多くの教会員は、牧師がすべての働きをなし、すべての重荷を負うべきであるという意見が蔓延しているために、彼らが持つべきはずの経験を奪われてきた。(ビュー・アンド・ハルド 1895 年 7 月 9 日)

あなたは魂を滅びから救うことができるように、グループを作り、主人であるお方の奉仕にあなたの機転、技術、タラントをすべて注ぎ込みつつ、キリストの兵士としてみ働きに参加できないだろうか。すべての教会にこの働きをするためのグループを作ろう。(サインズ・オブ・ザ・タイムズ 1893 年 5 月 29 日)

それぞれの教会に、その教会の近隣で労する働き人の組織だったグループがあるようにしよう。自己をあなたの後ろに置き、キリストにあなたの命と力としてあなたの前に行っていただく。ぐずぐずしないでこの働きに入ろう。そうすれば真理は地でパン種ようになる。そのような力がわたしたちのすべての教会で働きを始めるとき、教会の中に革新し、改革し、活発にする力が生じる。なぜなら、教会員はまさに神が彼らに行うようにとお与えになった働きをしているからである。わたしたちの教会はみな、神の御霊と力による熱心さに満たされ、活動的で熱心になろう。あなたが労することのできる地域社会で物を言うのは、神からあなたに与えられ、このお方の奉仕に捧げられた財産と能力と力の賢明な使用である。ある場所では、ごく小さく開始しなければならないかもしれないが、失望してはならない。その働きは大きく成長する。そしてあなたは伝道者の働きをしているのである。働きにおけるキリストの方法を知り、このお方がなさったように労するよう努めなさい。(ビュー・アンド・ハルド 1891 年 9 月 29 日)

権威ある者を軽んじる

「こういうわけで、主は、信心深い者を試練の中から救い出し、また、不義な子ども、特に、汚れた情欲におぼれ肉にしたがって歩み、また、権威ある者を軽んじる人々を罰して、さばきの日まで閉じ込めておくべきことを、よくご存じなのである。こういう人々は、大胆不敵なわがまま者であって、栄光ある者たちをそしってはばかりとてころがない。」(ペテロ第二 2:9, 10)

高慢な心霊術者は大いなる自由を主張し、滑らかな美辞麗句を用いて、用心深くない魂が、狭くまっすぐな道よりも、快樂と罪深い放縱の広い道を選ぶようにと魅了し、惑わす。心霊術者は神の律法の要求を束縛と呼び、それに従う者は奴隷のような恐れ of の生涯を歩むと言う。彼らは滑らかな言葉ともしっかりとした話しぶりで自分たちの自由を自慢し、彼らの危険な異端を義の衣で覆おうとする。彼らはもっとも吐き気をもちようさせる犯罪を民族にとって祝福であるかのように考えさせようとする。

彼らは罪人の前に肉の心の促しに従い、神の律法—とくに第七条—を破るようと戸を広く開ける。これらの虚しい大言を語る者、罪のうちにある彼らの自由を勝ち誇る者は、自分たちが欺いている人々に、明らかにされた神の意志に対する反逆の道で自由の享受を約束する。これらの欺かれた魂は、まさに自分自身がサタンの奴隷のくびきにつながれ、彼の力に支配されているにもかかわらず、自分自身で選び、あえて同じ罪の道に従おうとする人々に自由を約束するのである。

盲人が盲人を導いているという聖句が、まさに成就している。なぜなら人は打ち負かされることによって、同じ奴隷の身分に陥るからである。これらの欺かれた魂は悪魔の意志へのもっともなまげない奴隷状態にある。彼らは自ら闇の力と同盟を組み、悪魔の意志に逆らう力がない。これが彼らの自慢する自由である。彼らはサタンに打ち負かされ、奴隷にされており、彼らが欺く人々に約束した大いなる自由は罪とサタンへのどうすることもできない奴隷状態である。

わたしたちは彼らの会に出席してはならず、わたしたちの牧師が彼らとの論争に携わってもならない。彼らは、わたしたちが家に招いてはならず、彼らに成功の祈願を述べてもならないと明示されている部類である。(レ'ユー・アンド'・ヘラルド' 1875 年 4 月 15 日)

10月18日

秩序正しい統治の賜物

「あなたの約束にしたがって、わが歩みを確かにし、すべての不義に支配されないようにしてください。」(詩篇 119:133)

秩序は天の最初の律法であり、主は、ご自分の民が天の宮廷に行き渡っている秩序と調和を彼らの家庭にあらわすことを望んでおられる。真理はけっしてその繊細な足を不潔あるいは不純の道に置くことはない。真理は男女を粗野なあるいは気性の激しい、だらしない者にはしない。それはこれを受け入れるすべての者を高い水準に上げる。キリストの感化のもとで、たえまない精錬の働きが進む。

イスラエル軍に、彼らの天幕の内外にあるなにもかも清潔で整然としていなければならないという特別の命令が与えられた。陣営の中を行き来している主のみ使いが彼らの不潔を見ることがないためである。主はこれらの事柄を厳密に注意しておられるのであろうか。その通りである。なぜなら、次の事実が述べられているからである。すなわち、このお方が彼らの不潔をご覧になって、彼らの軍隊と共に戦いに出ていくことがおできにならないことがないためである。

イスラエルの子らが清潔の習慣を大切にしなければならないことを非常に目立たせたお方は、今日のご自分の民の家庭にどのような不純も容認なさらない。神はどのような種類の不潔も嫌悪をもってご覧になる。すべてのものがきちんととなり、清潔で純潔でないかぎり、わたしたちはどうしてこのお方を自分の家庭にお招きすることができるであろうか。

信者は貧しかろうと、個人的にあるいは家庭の中で不潔あるいは乱雑にする必要はないことを教えられねばならない。清潔の意味と重要性の感覚がないように思える人々にこの方向で助けが与えられなければならない。気高く聖なる神を代表すべき人々は、自分の魂を純潔で清く保たなければならないこと、またこの純潔は彼らの衣服に、家庭内の何もかもに適用されなければならないこと、それによって奉仕の天使が、真理が生活に変化をもたらし、魂を純潔にし、好みを精錬している証拠を得るようになることを、彼らは教えられなければならない。真理を受けた後、言葉や行動に、衣服や環境に何の変化もない人々は、自分自身のために生きているのであり、キリストのために生きているのではない。彼らは清めと聖潔へと、キリスト・イエスにあつてもう一度造られなければならない。(レビュー・アンド・ヘラルド 1902 年 6 月 10 日)

原則としての秩序

「すべてのことを適宜に、かつ秩序を正して行うがよい。」(コリント第一 14:40)

キリストに従うと公言するある者は、秩序と整頓を誇りだと言う。彼らは、自分たちの家屋を無秩序にし、手入れしない状態のままにしておくことを美徳とみなし、こうして現世の事柄に関心がなく、霊的な事柄を高く評価している証拠を与えていると考えているようである。しかし彼らの実生活を特徴づけているのと同じ無関心と怠惰が、彼らの宗教生活に与えられているのである。彼らの宗教経験には欠陥がある。……神はご自分の民が清潔できちんとしており秩序正しいことを命じておられる。イスラエルの子らに対する神のご命令はみな、衣服においても環境においても秩序と清潔の習慣を確立する性質のものであった。これは、彼らが健康を守り、生ける神の養子にされた民として、他の国民にしかるべき感化力を及ぼすために重要不可欠であった。(サインズ・オブ・ザ・タイムズ 1880 年 4 月 22 日)

ある人々は個人として非常にだらしない。彼らは純潔で聖なる天に備えるために、聖霊によって導かれる必要がある。イスラエルの子らが律法の宣言を聞くためにシナイ山に来たとき、神は彼らが清潔な体と衣服で来なければならないと言明なさった。今日神の民は行き届いた清潔と純潔の習慣によってこのお方に誉れを帰すべきである。

クリスチャンは彼らが結ぶ実によって判断される。神の真の子はきちんとしており清潔である。わたしたちは不必要な飾りやみせびらかしを警戒する一方で、外観に不注意であったり無関心であったりしてはならない。わたしたちの人物とわたしたちの家庭は清潔できちんとしており魅力的でなければならない。青年は批判の余地のない外見、すなわち神と真理に誉れを帰す外見を表す重要性を教えられるべきである。……

お母さんがた、もし子供たちの思考が純潔であることを望むなら、彼らの環境を純潔にしないさい。(ビュー・アンド・ヘアルド 1902 年 6 月 10 日)

神は、だらしく不潔な者をクリスチャンとお認めにはならないことをわたしは見た。……

これらの事柄は公然の譴責をもって対処すべきであり、もし真理を公言する者にこれらの事柄で即座の変化がないなら、彼らは宿営の外に出されなければならない。(原稿リ-ス 5 巻 377)

10月20日

教会を整理する

「あなたをクレテにおいてきたのは、わたしがあなたに命じておいたように、そこにし残してあることを整理してもらい」(テトス 1:5)

わたしは、神がある人々にご自分の御霊をつかわし、ご自分の教会を目覚めさせ、整理するための義の器として彼らをお用いになることを希望しつつ、切に待っていた。神に従う者の人生を特徴づけなければならない単純さを、神がわたしにおしになってから、毎年毎年その単純さからますます離れるようになってきている。わたしは尋ねる。証の書への信頼を公言する人々は、どの点においてその中で彼らに与えられた光に従って生きようと努めてきたのであろうか。どの点において、彼らは与えられた警告を尊重してきたのであろうか。どの点において、彼らは受けてきた指示に注意を払ってきたのか。

大きな変化が心に起こらなければならず、神の御前にいる非常に多くの者の生活がこのお方の恵みによって、他の人々の救いのために彼らの内で働くことができるのを、わたしは見た。彼らは神のかたちにかたどって、義と真の聖潔に再び新しくされなければならない。そのとき世への愛、自己愛、自己を高めるためにもくろんだ、人生のあらゆる野望は神の恵みによって変えられ、キリストがそのために死なれた魂を救う特別の働きに従事するようになる。ヘリクダリが自尊心の場所を占め、高慢なうぬぼれは柔和にとってかわる。心の力はことごとくすべての人々への私心のない愛によって支配される。(教会への証 2 巻 484)

終わりは近い! 神は教会に残していることを整理するようにと命じておられる。神との協作者よ、あなたは他の人々をあなたと共に王国へ連れて行くために、主に能力を与えられている。あなたは神の生ける代理者、世に対する光の通路であるべきであり、あなたの周りには、魂の救いのために働くにあたって、あなたを支え、強くし、鼓舞するためにキリストから任命を受けた天のみ使いがいる。

わたしは各連合会の教会に懇願する。義の太陽の輝く光線を反射しながら、世一世のものでなく、世の中で一から離れてまったく別に立ちなさい。純潔な者、聖なる汚れのない者であり、信仰のうちに地の大路と垣根のあたりすべてに光を運びなさい。永遠に遅くなる前に教会は目覚めよう。(同上 6 巻 436, 437)

霊を見分ける力

「すなわち、ある人には御霊によって知恵の言葉が与えられ、……またほかの人には霊を見わける力……が与えられている。」(コリント第一 12:8, 10)

ある人々は自分自身の不信仰に非常に盲目であるために、B兄弟の霊を識別することができていない。もし彼が神の勧告のうちにいたなら、彼らは彼に助けてもらえたことであろう。……

彼は、神の戒めを守る人々の確立された信仰に関して疑いと不信仰を提案することが名誉であると感じている。彼がかつて喜んでいていた真理は、今や彼にとって暗闇であり、そのため彼が自分の進路を変えない限り、彼は再びさまざまな教派の見解を混ぜあわせたものへと落ち込むことになるが、それらのうち一つとして完全に一致することはなく、彼は自分自身の他とは違う教会となるが、それは教会の偉大な頭であるお方の支配下にはいない。体の信仰に反対する見解をもたらすことによって、彼は教会を落胆させ、失望させている。(教会への証 3 巻 441)

敵が働く道筋はたくさんあるので、シオンの城壁の見張り人として置かれている人々は、敵の一つ一つの策略を見分けることのできる頼りになる者でなければならない。キリストは、わたしたちにおとずれる欺きと偽りについて警告を与えてこられたので、このお方の警告には厳密に聞き従わなければならない。一人ひとりの感覚が目覚めていなければならない。彼らは原因から結果を研究し、一つの方向だけでなく、あらゆる方向から状況の必要性を見るべきである。彼らは何を支持し、何を退けるかを理解しなければならない。天からの直接のメッセージであると主張するすべてのものの霊を識別すべきである。欺きがいつわたしたちのただ中で増加するかを知るべきである。この終わりの時代における民の教育と訓練は、神の御言に堅く信頼し、キリスト・イエスにある「しかり、アーメン」であるべきである。(原稿川ス 14 巻 197, 198)

神の御言を研究し、自分の実務処理すべてにその教訓を実行することにより、人々はその行動を支配する精神を注意深く識別することができる。人間の衝動や生来の傾向に従う代わりに、彼らは熱心な研究により、アダムのむすこ娘を支配すべき原則を学ぶことができる。(上を見上げて 187)

10月22日

キリストの鋭い知覚力

「〔祭司長たちや律法学者たちはイエス〕をうかがい（見張り）、義人を装うまわし者どもを送って、イエスを総督の支配と権威とに引き渡すため、その言葉じりを捕えさせようとした。彼らは尋ねて言った、『先生、わたしたちは、あなたの語り教えられることが正しく、また、あなたは分け隔てをなさらず、真理に基いて神の道を教えておられることを、承知しています。ところで、カイザルに貢を納めてよいでしょうか、いけないでしょうか』。イエスは彼らの悪巧みを見破って」（ルカ 20:20～23）

イエスはすべての知恵の泉であられる。このお方とつながっている人々は、神なる源から勧告を受ける。「そとの人に対して賢く行動」することができるのは、「上からの知恵」を持つ人々だけである（コロサイ 4:5; ヤコブ 3:17）。もしわたしたちが絶えず神の栄光に目を留めているなら、わたしたちの目は天の目薬が塗られて、もっと深く、世の現実のはるかかなたを見ることができるようになる。わたしたちが世の不正直さ、そのたくらみ、その利己心、見ているところだけの勤めぶり、そのみせかけと自慢と、握りしめている強欲さを見抜くとき、わたしたちは健全な原則と、確固たる高潔さ、キリストを認めることにおける聖なる大胆さを表すことによって、真理のみ事業を代表する立場を取らなければならない。（ビュー・フッド・ヘラルド 1909 年 10 月 7 日）

主は、わたしたちがこのお方の祝福をあふれるばかりに持つことを望まれるが、それはわたしたちが疑問をさしはさむ者、疑う者の側に身をおくのではなく、霊的識別力をもち、ほかの知らない人の声から真の羊飼いのみ声を聞き分けることができるためである。わたしたちには個人的な経験がなければならない。あなたは自分が高らかに公言しているからといって、世の光であるとうぬぼれてはならない。問題は「あなたは世の光であるのか、それとも世の暗闇であるのか」である。

全天は尊い光を委ねられているあなたにそれを期待している。生ける神のみ座からのはっきりとした明るい光線によって、光があなたの上に照らされてきた。一人びとりに対する、命に関わるもっとも重要な質問は、「わたしの魂は安全であるか」ということである。だれひとりとして、天が自分の思いの上に照らすのを許された光に応じ、答えるのでなければ、安全ではない。真理の光は他のなにものよりも尊い。……この光はわたしたちをテストし、わたしたちがどのような精神であるかを表すためである。（同上 1889 年 10 月 1 日）

識別力を求めたソロモンの祈り

「わが神、主よ、あなたはこのしもべを、わたしの父ダビデに代って王とならせられました。しかし、わたしは小さい子供であって、出入りすることを知りません。かつ、しもべはあなたが選ばれた、あなたの民、すなわちその数が多くて、数えることも、調べることもできないほどのおびたしい民の中におります。それゆえ、聞きわけの心をしもべに与えて、あなたの民をさばかせ、わたしに善悪をわきまえることを得させてください。だれが、あなたのこの大いなる民をさばくことができましょう」。 (列王記上 3:7～9)

〔ソロモンは〕もし神の助けがなければ、彼に負わせられた責任を果たすのに、彼は子供のように無力であることを自覚したのである。彼は識別力に欠けているのを知り、このような大きな必要感から知恵に神に願い求めたのである。彼の心の中には、他の者の上に自分を高めようとする利己的な知識に対する野望はなかった。彼は自分に負わせられた義務を忠実に果たすことを願った。そして、彼の治世を神に栄光を帰するものにすることができるとような賜物を選んだ。ソロモンは、「わたしは小さい子供であって、出入りすることを知りません」と告白したときほどに富み豊かで、賢明で、真に偉大だったことはなかったのである。……

われわれが仕える神は人をかたよりみないかたである。ソロモンに賢く物をわきまえる霊をお与えになったかたは、今日、神の子供たちに同じ祝福を喜んでお与えになる。「あなたがたのうち、知恵に不足している者があれば、その人は、とがめもせずに惜しみなくすべての人に与える神に、願い求めるがよい。そうすれば、与えられるであろう」と神のみ言葉に書いてある (ヤコブ 1:5)。重荷を背負っている者が、富、権力、名声を求める以上に知恵を求めるならば、失望させられることはない。……

神が識別力と才能をお与えになった人は、献身を維持している限り、高い地位に対する熱望をあらわしたり、支配したり監督したりしようと努めない。人は必要に迫られて責任を負わなければならない。しかし、真の指導者は最高の地位を求めようとはせず、善悪をわきまえる理解力が与えられることを祈り求めるのである。

指導者の立場に置かれた人々の道はやさしいものではない。しかし、彼らは困難に出会うごとに、それが祈りへの招きであることを認めなければならない。彼らは、あらゆる知恵の大いなる源であられる神のみこころを伺うことを怠ってはならない。彼らは、大いなる働き人であられる主の力と教えを受けて、悪の勢力に固く立ち向かい、善悪、……の区別をすることができるようになる。国と指導者上巻 6, 8)

10月24日

ソロモンへの神の賜物

「そこで神は彼に言われた、『あなたはこの事を求めて、自分のために長命を求めず、また自分のために富を求めず、また自分の敵の命をも求めず、ただ訴えをききわけの知恵を求めたゆえに、見よ、わたしはあなたの言葉にしたがって、賢い、英明な心を与える。』」（列王記上 3:11,12）

神はソロモンが、富、栄誉、あるいは長寿などよりも願ひ求めた知恵を、彼にお与えになった。機敏な知力、寛大な力、慈悲深い精神に対する彼の祈願は聞き入れられた。……

神に対する献身、高潔さと原則に固く立つこと、神の命令には厳密に服従することなどが、長年にわたって、ソロモンの生涯の特色であった。彼はあらゆる重要な事業を指導し、王国に関係した取り引きを賢く処理した。彼の富と知恵、彼の治世の初期に建設された壮大な建物や公共事業、彼の言葉と行動に現れた活気、敬神深さ、正義、雅量などが、彼の国民の忠誠を得るとともに、多くの国々の王たちの称賛と尊敬とを勝ち得たのである。

ソロモンの治世の初期に、主のみ名は大いにたたえられた。王が示した知恵と義は、彼が仕える神の優れた特性をすべての国々にあかししたのである。しばらくの間、イスラエルは世の光となり、主の偉大さを示したのである。ソロモンの治世の初期の真の栄光は、卓越した知恵、驚くばかりの富、また、彼の広範囲に及んだ権力と名声にあったのではなかった。それは、彼が神の賜物を賢明に用いることにより、イスラエルの神の名をたたえたことにあったのである。

年月が経過して、ソロモンの名声が高まったときに、彼は、自分の知的、霊的能力を強めて、彼が受けた祝福を他の人々に分け与え続けることにより神に栄光を帰そうとした。彼に権力と知恵と悟りが与えられたのは、主の恵みによるものであること、また、これらの賜物が与えられたのは、彼が王の王の知識を世界に伝えるためであったことを他のだれよりもよく知っていたのは彼であった。（国と指導者上巻 8,9）

不義を見分ける

「わたしの舌に不義があるか。わたしの口は災をわきまえることができぬであろうか。」(ヨブ 6:30)

霊的な識別力を持っていない人々は、偽り者と真の者を区別するのに失敗し、神とつながりを持っていない人々を大いに尊ぶ。無関心で不注意な人々、恵みと真理の知識に成長するのに失敗する人々は、欺かれる。彼らは、人にクリスチャン品性の完全さを与える教理と経験の第一の原則を理解しない。

わたしたちの義務、わたしたちの安全、わたしたちの幸福と有用性、そしてわたしたちの救いは、わたしたち一人びとりが、最大限の勤勉さを働かせてキリストの恵みを確保すること、またわたしたちが霊的な事柄を識別して、サタンの方略を知らずにいることがないように、神と密接につながっていることを要求する。進んで教えを受けようとする人々は、神の御霊の勧告と警告に聞き従う。主はあわれみの内にこれらのさとしと譴責をお送りになる。このお方の公言する民が盲目になり、誘惑に陥り、このお方をつかむ手を緩めるとき、主は譴責、警告、勧告のメッセージを彼らにお送りになる。もし彼らが正されるのを拒むなら、反抗して立ち上がり、このお方がお送りになるメッセンジャーに非難を浴びせるなら、彼らはメッセンジャーを拒むのではなく、主を拒むのである。民が預言者サムエルの勧告に聞き従うのを拒んだとき、主は彼に「彼らが捨てるのはあなたではなく、わたしを捨て」たのであると仰せになった(サムエル上 8:7)。

ある人々には不信仰の心があり、彼らは自己過信と自己欺瞞の中で自分の過ちを見ることができない。彼らは自分の欠陥と危険に盲目である。彼らが自分の罪と過ちを知って、なおそれ続けるなら、主は思いの盲目と心の頑(かたく)なさへと彼らを見放し、彼ら自身の道に従わせ、わなにかかり、滅びるがままになさる。(レビュー・アンド・ハールド 1884 年1月8日)

10月26日

助ける機会をとらえる

「ある日エリシャはシュネムへ行ったが、そこにひとりの裕福な婦人がいて、しきりに彼に食事をすすめた」(列王記下 4:8)

わたしたちの天父は、わたしたちの道に一見それとはわからない祝福をおかれるが、ある人々は自分たちの楽しみが減るのを恐れてこれらにさわらない。天使たちは、わたしたちが自分の手の届く範囲にある、善をなす機会を大事にするかどうか—わたしたちが他の人々を祝福し、今度はその人々がわたしたちを祝福できるようにするかどうか見ようと待っている。(教会への証 2 巻 68)

欺瞞を恐れるあまりに、価値のある自己を犠牲とするキリストの僕をなおざりにする人々を神が哀れんでくださるように! 次のような言葉が、この怠慢に対する言い訳にされてきた。わたしたちは何度も、知らない人々を恐れるようにと命じられてきた、と。主とその弟子たちは、わたしたちが、もしかしたら何か間違いを犯して、ふさわしくない人の世話をするという面倒を抱えて痛い目に遭うことがないように、とても用心深くなり、旅人をもてなすことがないようにと教えたであろうか。

パウロはヘブル人に、「兄弟愛を続けなさい」と忠告した(ヘブル 13:1)。この忠告が必要でなくなる時、兄弟愛がやむ時が来ると都合よく思いこんではならない。……マタイ 25:31 とその続きを読んでいただきたい。兄弟たちよ、つぎにあなたが朝夕の家族礼拝で聖書を手取る時に、それを読みなさい。王国に歓迎される人々によってなされた良いわざは、苦しむ神の民になすことによって、キリストのためになされたのである。これらの良いわざをした人々は、自分たちが何かキリストのためにしたとは思っていなかった。彼らは苦しむ人類に対して自分たちの義務を果たしたに過ぎなかった。左側にいる人たちは、彼らがキリストの民の必要を無視したことによって、キリストを虐待していたのだということを認めることができなかった。しかし、彼らはイエスの聖徒になさないうことによって、イエスのためになすことを怠っていたのであった。そしてこの怠慢のために、彼らは永遠の刑罰に陥ることになった。そして、この一つのはっきりした彼らの怠慢の点は、次のように述べられている、「旅人であったときに宿を貸さず」(マタイ 25:43)。

わたしは至るところにある自称安息日遵守者の間の利己心を悲しんでいる。キリストはわたしたちのために永遠の住まいを用意するために行かれたのに、わたしたちは追い出されたキリストの聖徒たちを拒むことによって、このお方をほんの数日家庭に受け入れることを拒むのであろうか?(同上 1 巻 679, 680)

正しいか、間違っているか？

「彼らはわが民に、聖と俗との区別を教え、汚れたものと、清いものとの区別を示さなければならない。」(エゼキエル 44:23)

この危険な時代に、わたしたちは天があわれみのうちにわたしたちに送ってくれた光線を拒むことがないように、はなはだ気をつけるべきである。なぜなら、わたしたちが敵の策略を見分けるのはこれによってだからである。わたしたちは、聖と俗、また永遠のものと一時的なものを区別するために、毎時間、天からの光を必要としている。(ビュー・アンド・ヘルド 1883 年 10 月 16 日)

人の心を開かれた書物のように読まれるお方は、死すべき先見性のない人間が発見できないことをご覧になる。有限な知恵は、鋭い譴責や、緊急な警告と嘆願の必要性を認めることができない。人やその目的を誤解する人々は、神が送られた譴責のメッセージに反対する宣告を下し、自分たち自身の考えにあわせて物事を解釈しようと企てる。彼らは神の勧告が神の意図された働きをすることがないように、わきへおく。誤り導かれた信頼する人々は、自分たちの感化力を通して、神が彼らに送られた警告をわきに捨てる。そして、そのときサタンは自分の惑わしをもって彼らの魂をわなにかける準備ができていたのである。主は、もし彼らがご自分の声に聞き従っていたなら、彼らを墮落からお救いになったのである。彼らを助けるべきでありながら、ただ損なうことしかしなかった人々は、神の法廷で弁明をしなければならない。……

神のみ言葉は、人々の間にただ二つの大きなグループだけを示している。イエスはご自分の弟子たちに、「もしあなたがたがこの世から出たものであったなら、この世は、あなたがたを自分のものとして愛したであろう。しかし、あなたがたはこの世のものではない。かえって、わたしがあなたがたをこの世から選び出したのである。だから、この世はあなたがたを憎むのである」と言われた(ヨハネ 15:19)。宗教教師にはただ二種類しかない。一種類については、使徒ヨハネが次のように宣言している。「彼らは世から出たものである。だから、彼らは世のことを語り、世も彼らの言うことを聞くのである」(ヨハネ第一 4:5)。もう一種類については、「しかし、わたしたちは神から出たものである。神を知っている者は、わたしたちの言うことを聞き、神から出ない者は、わたしたちの言うことを聞かない。」「すべて神から生れた者は、世に勝つからである。そして、わたしたちの信仰こそ、世に勝たしめた勝利の力である」(ヨハネ第一 4:6, 5:4) (同上 1884 年 1 月 8 日)

10月28日

光に対する責任

「ましてわたしは十二万あまりの、右左をわきまえない人々と、あまたの家畜とこの大きな町ニネベを、惜しまないでいられようか」(ヨナ 4:11)。

ニネベの人々は、目的にかなって憐れみのメッセージを聞いたために、すなわち彼らがヨナの説教を聞いて、自分たちの心をへりくだらせ、悔い改めたために、天の神が異教の世界の前であがめられたのであった。(ユース・インストラクター 1897 年 9 月 23 日)

あなたの心を、キリストの寛容に対して開きなさい。一日たりともあなたが神のための働きに対する責任、すなわちあなたのための御子の死によっておかれた責任を自覚しないでやり過ぎてはならない。一日たりとも罪が生じた傷をいやそうとすることなく、やり過ぎてはならない。つねに神の愛の広大なご計画に従事して働いているところを見られるようにしなさい。

わたしたちは神のみ旨を行うことを願う義務の下にある。救い主はわたしたちのために働いておられる。このお方は天の法廷におけるわたしたちの弁護人であり、たえずわたしたちのためにとりなしをして下さっている。今にも滅びるばかりの人の叫びは、すみやかにこのお方の耳に入る。「彼は乏しい者をその呼ばれる時に救い、貧しい者と、助けなき者とを救う」(詩篇 72:12)。わたしたちはこのお方が明らかに示された分野で、このお方のために働かないのであろうか。過ちに陥っている人々のためにキリストのような弁護人とならないのであろうか。

キリストは誘惑され、苦しまれた。それゆえに、このお方はつねにサタンが滅ぼそうとして、誘惑されている人々に同情される。……このお方は無知な者や、道から逸脱している人々をあわれまれる。なぜなら、この地上におられたとき、このお方は弱さに取り囲まれていたからである。このお方はわたしたちの困惑の時に助けることがおできになる。このお方がわたしたちのために働いていられるように、わたしたちも互いのために働こう働き人の同志を愛する愛を表し、彼らがわたしたちに完全に信頼できるような方法で行動しよう。

わたしたちが思うよりもっと多くの人々が、自分たちに伸ばされる助けの手を必要としている。憐れみと同情の言葉が、渇いた魂への清新な一杯の水のようになる人々がたくさんいる。あなたは疲れて意気消沈している同胞に仕えることによって、キリストの奉仕をしているのであろうか。愛とあわれみをもって、キリストはわたしたちを助けて下さる。わたしたちは、他の人々に希望と勇気の言葉を語ることによって、このお方の恵みを分け与えないのであろうか。(パシフィック・ユニオン・レコーダー 1902 年 3 月 13 日)

偽の識別力を避ける

「その時あなたがたは、再び義人と悪人、神に仕える者と、仕えない者との区別を知るようになる。」(マラキ 3:18)

教会内にクリスチャンの名に値しない人びとがいるからといって、世の人びとがキリスト教の真理を疑ってもよいという理由にはならない。また、クリスチャンもにせ兄弟がいるからといって失望すべきではない。イスカリオテのユダは、使徒の一人に数えられていた。あがない主は、魂を一人でも失うことを望まれないのである。イエスとユダとの経験は、かたくな人間の性質をイエスがどれほど忍ばれたかを示すために記録されたものである。主は、わたしたちにも、ご自分と共に忍ぶことを命じておられる。にせ兄弟は世の終わりに至るまで教会の中に残るであろうと主はいわれるのである。

こうしたキリストの警告があつたにもかかわらず、毒麦を引きぬこうとした人びとがあつた。……

キリストのたとえは、わたしたちが人をさばいたり、罰したりしないで、へりくだった気持ちを持って、自己過信におちいらないことをいましめている。畑にまかれた種が全部よい麦ではない。ただ教会のなかにいるだけで、その人がクリスチャンだという証拠にならない。

毒麦は、青葉のうちは、麦とよく似ている。ところが畑が色づいて収穫時になると、価値のない雑草は、穂がよく熟して、その重みで頭を下げる麦とは少しも似ていない。敬虔の形をした罪人は、しばらくキリストの真の弟子の間に混じっている。そしてクリスチャンとよく似ているために、多くの人をあざむくのであるが、しかし、世界の収穫の時には、善と悪の間には、なんの類似もないのである。そのとき、教会には加わったが、キリストにつながっていないものは、明白にわかるのである。

毒麦は、麦の間で生長し、同じように太陽の光や雨に浴すことがゆるされた。しかし、収穫の時には、「その時あなたがたは、再び義人と悪人、神に仕える者と、仕えない者との区別を知るようになる」とある(マラキ書 3:18)。天の家族とともに住む価値のあるものがだれであるかを決定するのは、主ご自身である。主は、各自のことばと行為によって、おさばきになる。口で言うことには、なんの値うちもない。運命を決定するのは、品性である。(キリストの実物教訓 51, 52)

10月30日

しるしを見分ける

「また明け方には『空が曇ってまっかだから、きょうは荒れだ』と言う。あなたがたは空の模様を見分けることを知りながら、時のしるしを見分けることができないのか。」(マタイ 16:3)

主の公言する人々は、自分たちに割り当てられた働きをしながら寝ているために、多くの場所がかなり手のつけられていない状態である。神はご自分の民が目覚めて何かをするように、また今するようにメッセージに次ぐメッセージを送って来られた。しかし、「わたしはだれをつかわそうか」との召しに対して、「ここにわたしがおります。わたしをおつかわしてください」と答える者はほとんどなかった(イザヤ 6:8)。

怠惰と無精の汚点が教会から一掃されるとき、主の御霊が恵み深く表される。神聖な力が現わされる。教会は万軍の主の摂理的な働きを見るようになる。真理の光が、使徒たちの時代のように、はっきりと強い光線のうちに輝き出て、多くの魂が誤謬から真理に立ち返るようになる。地上は主の栄光によって明るくされる。

天使たちは、長い間、人間の代理人が一教会員が一なされるべき偉大な働きにおいて自分たちと協力するのを待ってきた。彼らはあなたを待っている。畑は非常に広大で、企画は非常に包括的であるため、すべての聖化された心は、神聖な力の器として奉仕に動員される。

同時に、下から働く力も起こる。神のあわれみの代理人たちが献身した人間を通して働く一方で、サタンは自分の代理人を働きにつかせ、自分の支配下に屈するすべての者に貢物をささげさせる。多くの主々や多くの神々があるであろう。「見よ、ここにキリストがいる」、「見よ、あそこにキリストがいる」という叫びが聞かれることであろう。サタンの深い悪だくみが、現在の義務から男女の注意をそらすのを目的として、いたるところに現れるであろう。しるしや不思議があるであろう。しかし、信仰の目はこれらすべての表れの中に、壮大で恐るべき将来と、神の民を待っている勝利の前兆を見分けるのである。(教会への証 9 巻 46, 47)

神に感謝するのは、すべての人が肉の安全というゆりかごの中で揺られて寝かしつけられるわけではないことである。時のしるしを見分ける忠実な者たちがいる。現代の真理を公言する大多数の人々が自分たちの行いによってその信仰を否定する一方で、最後まで耐え忍ぶ人々がいる。(同上 5 巻 10)

識別力を増し加える

「しかし、堅い食物は、善悪を見わける感覚を実際に働かせて訓練された成人の
のとるべきものである。」(ヘブル 5:14)

今日、キリストの時代と同じように、奇妙で変わった考えが生じる。キリスト
がお教えになった真理は、壮大で高尚で高めるものである。しかし、ユダヤ人は
大いなる光が与えられていたにもかかわらず、神と人への愛という偉大な原則を
実生活に持ち込んでいなかった。(原稿リ-ス 14 巻 59)

教会員は、自分たちの名が教会名簿に登録されていることが自分たちを救う
わけではないという事実を心に留めよう。日々、彼らはキリストの指示に従って、
自分たちの品性を建設しなければならない。彼らはこのお方のうちに宿り、たえ
ずこのお方を信じる信仰を働かせていなければならない。(同上 9 巻 48)

真理を信じる人々にとって、絶えず前進し、キリスト・イエスのうちにある満ち
みちた男女の高さにまで成長することが、絶対に必要である。背信や無関心のた
めの時間はない。各自が神の事柄に生きた経験を持たなければならない。自分
自身のうちに根を持ちなさい。信仰に根ざしなさい。こうしてあなたが、すべて
の人の行いと品性を試す時を通じて、神へのゆるぎない信頼を持って耐えること
ができるよう、できることはすべてなしておくためである。あなたが神のみ言葉の
深い事柄を感謝することができるまで、あなたの力を霊的な事柄において働かせ、
力から力へと進みなさい。

真理の光を持っていると主張しながら、前進するために一步も踏み出さない
者が何千人もいる。彼らには、すべての利点があったにもかかわらず、生きた経
験がない。彼らは献身が何を意味するか知らない。彼らの礼拝は形式的で中身
がなく、彼らの敬神には深みがない。神のみ言葉はそれを真剣に求める人々に霊
的な自由と啓発を提供する。神のみ約束を受け入れ、生きた信仰をもってそれ
に基づいて行動する人々は、自分たちの生活に天の光を持つようになる。彼らは
命の泉から飲み、自分自身の魂を活気づけた水へ、他の人々も導くようになる。(レ
ビュー・アンド・ヘラルド 1888 年 1 月 10 日)

アベルは死にました。そしてカインは、自分たちの長子で、彼らが大いに頼りにしており、自分たちの将来の望みをかけていた人が追放され、自分の命を失うのではないかと恐れて、東に向かって、知らない地へ急いだのです。

それはなんと暗い日だったことでしょう！エデンを最後に見たあの恐ろしい夜、また炎のつるぎを持った御使が自分たちがもどれないように道をふさいでいるのを見たときに感じたこの上ない孤独と絶望のとき以来でした。

彼らが生きている意味があるか、これ以上希望を持ってなんの意味があるかと思ったとしても不思議ではありません。

しかし、彼らのあわれな悲しい心にふたたび希望がおとずれました。そしてそれはよくあるように、赤ちゃんという形でおとずれました。なぜなら、ちょうどその時に、エバがもう一人の小さい男の子を得たらからです。聖書には、次のように記されています。「彼女は男の子を産み、その名をセツと名づけて言った、『カインがアベルを殺したので、神はアベルの代りに、ひとりの子をわたしに授けられました』。」

こうして彼らはもう一度、この子を通して約束された子孫が与えられるのではないかと信じ、望みを持つようになりました。そして、彼らは知らなかったものの、今回はその通りでした。

カボチャサラダ

■材料

かぼちゃ 1/2 個 (250g)
カシューナッツ 半カップ
ココナツミルク カップ
レモン 小さじ 1
にんにく 1/2 片
塩 小さじ 1/2

■作り方

1. カボチャを角切りにしてゆでます。
2. それ以外の材料をフードプロセッサーに入れて、なめらかになるまでよく混ぜ、カシューナッツソースを作ります。
3. ゆでたカボチャに、カシューナッツソースをあえて、出来上がりです。

教会プログラム (毎週土曜日)

安息日学校 : 9:30-10:45 (公開放送)

礼拝説教 : 11:00-12:00 (公開放送)

午後の聖書研究 : 14:00-15:00

【公開放送】 <http://www.4angels.jp>



聖書通信講座

※無料聖書通信講座を用意しております。

☐ 福音の宝

☐ 聖所真理

お申込先 : sdarm.shomaru@gmail.com



書籍

【永遠の真理】聖書と証の書のみに基づいた毎朝のよみもの。



【安息日聖書教科】は、他のコメントを一切加えず、完全に聖書と証の書のみに基づいた毎日の研究プログラムです。



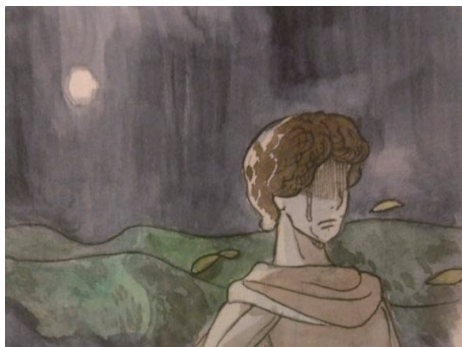
聖書物語

パート2 第17話
しるしをつけられた人(II)

あわれなカインは自らを、永久に自分の命を失うことを恐れて生き、決して戻れない家からますます遠く離れてつねに逃げていく者として思い描きました。このかわいそうな青年に対する同情から、神さまは、赤ちゃんの時から彼を大切に思ってきたので、「だれも彼を打ち殺すことのないように、彼に一つのしるしをつけられた」。

このしるしは何なのかを聖書は告げていません。それは、罪、自責の念、心配がいつももたらす表情の変化であったかもしれません。それが何であろうと、この瞬間から、彼は違う人、歴史上、はじめてしるしをつけられた人になりました。しるしをつけられましたが、つかまえたり、罰したりするためにではなく、彼の刑罰によって命がとられないためにしるしがつけられたのでした。

このしるしはその他にも役割がありました。それはカイン、その妻、その子ら、そして彼に会うすべての人に、罪の結果がいかにも恐るべきものであるかを思い起こさせるのでした。それは、彼と彼の愛する人々に非常な悲しみをもたらした悪の道に従うことがないように、すべての人に対する警告でした。



「カインは主の前を去って、エデンの東、ノドの地に住んだ。」

あなたはそれがアダムとエバにとって何を意味するか、じっくり考えてみたことがありますか？

ほんの一日という短い間に二人の息子を失ったのです。

(67 ページに続く)